I-O DATA

ハードディスク

HDNVシリーズ

取扱説明書

株式会社 アイ・オー・データ機器

119723-02

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
3) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
4) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
5) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。
6) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
7) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
8) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

- I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Microsoft,Windowsは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

もくじ

お読みになる前に 2
必ずお守りください 3

はじめに **9**

箱の中の確認 10
作業の前に 11
動作環境の確認 12

取り付けよう **19**

使えるようにしよう **53**

付録 **71**

困った時には 72
容量の確保方法 75
ファイルシステムについて 88
用語解説 90

お問い合わせ 91
修理について 92

参考
本製品を使う上で、役に立つことが書かれています。

お読みになる前に

このたびは「HDNVシリーズ」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。

呼び方

呼び方	意　味
NEC	日本電気株式会社
富士通	富士通株式会社
東芝	株式会社 東芝
日立	株式会社日立製作所
IBM	日本アイ・ビー・エム株式会社
SONY	ソニー株式会社
SHARP	シャープ株式会社
Compaq	コンパックコンピュータ株式会社
EPSON DIRECT	エプソンダイレクト株式会社
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System, Microsoft® Windows® XP Professional Operating System
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Operating System, Microsoft® Windows® 98 Second Edition Operating System
Windows 95	Microsoft® Windows® 95 Operating System
Windows NT 4.0	Microsoft® Windows NT® Workstation Version 4.0 Operating System
Windows NT 3.51	Microsoft® Windows NT® Workstation Version 3.51 Operating System
Windows 3.1	Microsoft® Windows® Version 3.1 Operating System
Windows XP/2000	Windows XP, Windows 2000の総称

マークの説明

注意
本製品を使う上で、注意するべきことが書かれています。

参考
本製品を使う上で、役に立つことが書かれています。

必ずお守りください

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

This product is for use only in Japan.　We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.

警告および注意事項

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵記号の意味

△ この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「発火注意」を表す絵表示

⃠ この記号は禁止の行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「分解禁止」を表す絵表示

● この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠ 警告

本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止してください。

電源を切ってコンセントから電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

本製品を修理・改造・分解しないでください。

火災や感電、やけど、動作不良の原因になります。
修理は弊社修理センターにご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間であっても有料修理となる場合があります。

本製品を取り付ける場合は、必ず本書で接続方法をご確認になり、以下のことにご注意ください。

- 接続ケーブルなどの部品は、必ず添付品または指定品をご使用ください。故障や動作不良の原因になります。
- 接続するコネクタやケーブルを間違えると、パソコン本体やケーブルから発煙したり火災の原因になります。

本製品の取り付け・取り外しの際は、必ず本書で方法をご確認ください。

間違った操作を行うと火災・感電・動作不良の原因となります。

本体を濡らさないでください。

火災・感電の原因となります。お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。

濡れた手で本製品を扱わないでください。

感電や、本製品の故障の原因となります。

⚠ 注意

本製品を使用中にデータなどが消失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。

ハードディスクや MO ディスクは消耗品です。
故障に備えて定期的にバックアップをお取りください。

本製品は以下のような場所で保管･使用しないでください。

故障の原因になることがあります。

- ●振動や衝撃の加わる場所
- ●直射日光のあたる場所
- ●湿気やホコリが多い場所
- ●温度差の激しい場所
- ●熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
- ●強い磁力電波の発生する物の近く
  （磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）
- ●水気の多い場所（台所、浴室など）
- ●傾いた場所
- ●腐食性ガス雰囲気中（Cl_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_xなど）
- ●静電気の影響の強い場所

アクセスランプ点灯中に電源を切ったり、パソコンをリセットしないでください。

故障の原因になったり、データが消失するおそれがあります。

本製品は精密部品です。以下の注意をしてください。

- ●落としたり、衝撃を加えない
- ●本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- ●重いものを上にのせない
- ●本製品のそばで飲食・喫煙などをしない
- ●本製品内部およびコネクタ部に液体、金属、たばこの煙などの異物が入らないようにしてください。

本製品のコネクタ・基板部分には触れないでください。

基板部分は、とがっている場合があります。誤って触れるとけがの原因となります。

また、コネクタ・基板部分に触れると静電気により、本製品が破壊されるおそれがあります。

本体についた汚れなどを落とす場合は、柔らかい布で乾拭きしてください。

- 洗剤で汚れを落とす場合は、必ず中性洗剤を水で薄めてご使用ください。
- ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使用しないでください。
- 市販のクリーニングキットを使用して、本製品のクリーニング作業を行わないでください。故障の原因となります。

本製品を結露させたまま使わないでください。

時間をおいて、結露がなくなってからお使いください。

本製品を寒い所から暖かい場所へ移動したり、部屋の温度が急に上昇すると、表面・内部が結露する場合があります。

そのまま使うと誤動作や故障の原因となる場合があります。

使用上のご注意

●連続使用をなるべく避ける

一般にノートパソコン用ハードディスクは、連続的な使用を行うための設計はされておりません。

連続使用した場合、製品寿命に影響を与えることがあります。

このため、ノートパソコンの省電力機能（Windows Me/98では「電源の管理」、Windows 95では「パワーマネージメント」など）を有効にしたり、ノートパソコンの電源を定期的に切るなどして、なるべく連続使用を避けてお使いになることをおすすめします。

●パソコンのBIOSを設定変更した場合は、取り付け前に元に戻す

元に戻さないと、OSをインストールできない場合があります。

●ケーブルの取り外しに、ペンチなどを使わない

取り付け部を破損するおそれがあります。

●取り付け、取り外し作業によるパソコンの破損・損傷・故障などについて

弊社では一切保証いたしかねます。あらかじめご了承ください。

●本製品を振ると「カチャカチャ」と音がする場合がある

製品の構造上そのような音がする場合がありますが、問題ありません。

なお、本製品をあまり振らないようご注意ください。

●本製品を廃棄あるいは譲渡などされる際の注意事項

・本製品に記録されたデータは、OS上で削除したり、ハードディスクをフォーマットするなどの作業を行っただけでは、特殊なソフトウェアなどを利用することで、データを復元・再利用できてしまう場合があります。

その結果として、情報が漏洩してしまう可能性がありえます。

ハードディスク上のソフトウェアについて
ハードディスク上のソフトウェア（OS、アプリケーションソフトなど）を削除することなくハードディスクを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があります。

・情報漏洩などのトラブルを回避するために、データ消去のためのソフトウェアやサービスをご利用いただくことをおすすめいたします。

ハードディスクデータ消去ソフトのご案内

ただいま（2003年6月現在）特典サービス実施期間中につき、弊社の「Disk Refresher LE」を下記のWebページよりご入手いただけます。

専用Webページ　http://www.iodata.jp/pr/2002/dref_bonus/

はじめに

箱の中の確認 ……10

箱の中のものを確認します。

動作環境の確認 ……12

本製品を使うことができるパソコン環境を説明します。

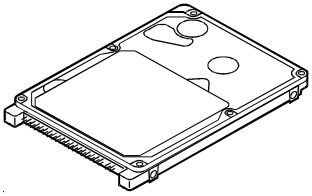
作業の前に ……11

実際の作業に入る前に準備することを説明します。

箱の中の確認

箱の中には以下のものが入っています。
□にチェックをつけながら、ご確認ください。
万が一不足品がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

□ **ハードディスク(1台)**［HDNVシリーズ］



☑ **HDNVシリーズ取扱説明書(1冊)**［本書］
□ **ハードウェア保証書(1枚)**

参考

ユーザー登録
▼ここにシリアル番号をメモしてください。

※ シリアル番号は、本製品に貼られているシールにある12桁の英数字（例：ABC1234567ZX）です。
シリアル番号は、ユーザー登録の際に必要です。

●ユーザー登録　⇒ http://www.iodata.jp/regist/

箱・梱包材は
大切に保管し、修理などで輸送の際にお使いください。

イラストについて
実物と若干異なる場合があります。

作業の前に

実際の作業に入る前に準備することを説明します。

準備するもの

・各種ドライバー(「＋」「－」ドライバー)

ネジを外すために使用します。

※ドライバーはネジの大きさにあったものをお使いください。
大きさが合わないドライバーを使うと、ネジを破損する場合があります。

・コイン(一部のIBM ThinkPadをお使いの場合)

ネジを外すために使用します。

・システム再セットアップ用起動ディスク(必要な場合のみ)

※作り方の詳細は、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

・Windowsの起動ディスク(必要な場合のみ)

40Gバイト以上の本製品を、Windows 98, Windows 98 SEプリインストールモデルの
NEC PC98-NXシリーズ LA, LC, LWシリーズに取り付ける場合のみ必要です。

※作り方の詳細は、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

※64Gバイト以上の本製品をお使いになる場合は、Windowsの起動ディスクを作成する
前に、下のWebページをご覧になり、FDISKのアップデートを行ってください。

http://support.microsoft.com/default.aspx?scid=kb;ja;263044

動作環境の確認

本製品を使うことのできるパソコン環境を説明します。

対応機種

記号の説明

○：対応
－：未対応
※：制限付き対応（制限については、表の下に記載されています。）

本製品を取り付けた後、パソコンの再セットアップが必要です。

パソコンの内蔵ハードディスクと入れ替えることになります。
内蔵ハードディスク内の必要なデータは他にバックアップしてください。

タイプについて

本製品を取り付ける際に、どの方法が適切かを示します。
表の「タイプ」の部分に、関連する取り付け作業の説明ページが記載されています。
ただし、作業を行う前に【必ずお守りください】（３ページ）、【作業の前に】(11ページ)、【取り付けよう】の1ページ目(19ページ)をお読みください。

●NEC

PC98-NXシリーズ	タイプ	対応状況(Gバイト)		
		8.4	20～30	40～
LA500J/15(C,D)	B	○	○	○※
LC50H(/34C,/34D), LC500J/34D, LC600J/34D	D	○	○	○※
LC600J/54D, LC60H/54D, LC65H/64DS	E	○	○	○※
LC700J/34D	D	○	○	○※
LC700J(/54D,/64D), LC70H/64D, LC750J/74DH, LC800J(/54E,/64E,/74D)	E	○	○	○※
LC800J/84D, LC900J/84D, LL700R(/73D,/74D), LL800R(/74D,/84D)	A	○	○	○
LS800J/56D	C	○	○	○
LU40L/22, LU45L(/33,/3S), LU50L(/53,/54), LU700R(/63D,/64D)	A	○	○	○

PC98-NXシリーズ	タイプ	対応状況(Gバイト)		
		8.4	20～30	40～
LV13C, LV16C, LV20C, LW20/32(A,C,D), LW20/3D(A,C,D), LW20/42(A,C,D), LW20/4D(A,C,D), LW20/42(CS2,DS2), LW23/33(C,D), LW23/43(C,D), LW23C/52(C,D), LW23D/52(C,D), LW23D/53(C,D)	A	○	－	－
LW30H/72(C,D), LW333D/74(C,D), LW33H/73(C,D), LW33H/82(C,D), LW366D/74(C,D), LW36H/83(C,D), LW400D/84(C,D), LW40H/84(C,D)	A	○	○	○※
LW36H/12, LW40H(/13,/14), LW43H(/14,/22D,/23D), LW450J/24D, LW46H/14, LW500J/24D	D	○	○	○※
VA20C(/WD,/WS), VA23C/WX, VA23C(/WD,/WS) －以下は平成10年10月発表モデルのみ－ VA23D/WS model(AYM34,AYT34,AYA34,TYM34,TYT34,TYA34, BAM34,BAT34,BAA34) VA23D/WX model(AYM34,AYT34,AYA34,TYM34,TYT34,TYA34, BAM34,BAT34,BAA34)	A	○	－	－
VA30H/WS, VA33D(/WS,/WT)	A	○	○	○
VA33D/WX, VA36D/AX	B	○	○	○
VA36D/TX	E	○	○	○
VA36D/WX, VA40D/AX	B	○	○	○
VA40H/WX	D	○	○	○
VA40L/RS	A	○	○	○
VA46H/WX	D	○	○	○
VA50J/AF, VA65J/AF	B	○	○	○
VA70H/WX	D	○	○	○
VA70J/AF	B	○	○	○
VA70J/VH	A	○	○	○
VA70J/WX, VA80J/WX	D	○	○	○
VP13C(/WS,/WD), VP16C(/WX,/WS), VP23C/WX, VP26C/WX	A	○	－	－

※ Windows 98/98 SEモデルの場合、再セットアップ時にWindowsの起動ディスクが必要です。
Windowsの起動ディスク作成方法については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

タイプ			
	A ····· 20ページ	B····· 24ページ	C ····· 26ページ
	D ····· 31ページ	E····· 36ページ	

●富士通

FMVシリーズ	タイプ	対応状況(Gバイト)		
		8.4	20～30	40～
5166NU8/W※, 5166NU8/Y	G	○	－	－
5200NA8/X※, 5200NA8/W※, 5233NA/X	F	○	－	－
5233NP/W	C	○	－	－
5233NU/W, 5233NU/Y	G	○	－	－
6266NA8/X, 6233NA/X, 6266NA/X	F	○	○	○
6366NU4/L, 6400NU4/L, 6450NU5/L, 645NU6C(/L,/W,/X), 650NU7C(/L,/W)	C	○	○	○
6500NA5/B	D	○	○	○
6500NU6/L	C	○	○	○
6550NA6/B	D	○	○	○
6600NU7/L, 6650NU7/L	C	○	○	○
6750NA7/B	D	○	○	○
6700NU8/L	C	○	○	○
MG8/75, MG8/800, MG9(/850,/850M,/85C)	C	○	○	○
NB7(/750R,/80R,/80C), NB8(/90D,/90DR), NB9(/90R,/95), NB10A, NB10AR	F	○	○	○
NE(/33E,/33,/36X,/36L,/36LA), NE2(/43L,/43LR,/40E,/45,/450L,/450LR)	C	○	○	○
NE7(/75,/75W), NE5/600R	F	○	○	○
NPⅦ20D, NPⅦ23	C	○	－	－
NRⅨ(/26X,/30L), NR/33X	G	○	○	○
NUVI23, NUVI23D, NUVⅦ23, NUVⅦ23D	C	○	－	－
NUV16※, NUV16D※, NUV16X※	G	○	－	－

※ 7.9Gバイトのドライブとしてご利用になれます。

タイプ	C ····· 26ページ　D····· 31ページ　F ····· 40ページ G ····· 43ページ

●東芝

Dynabook TECRAシリーズ	タイプ	対応状況(Gバイト)		
		8.4	20～30	40～
8100	D	○	○	○

Dynabook Satelliteシリーズ	タイプ	対応状況(Gバイト)		
		8.4	20～30	40～
1800	D	○	○	○
2250, 2270, 2210	C	○	○	○
2510	D	○	－	－
2520, 2540, 2550S, 2550X, 2590X, 4100X, 4030X, 4060X, 4080X, 4240, 4260, 4320, 4360	D	○	○	○

Dynabookシリーズ	タイプ	対応状況(Gバイト)		
		8.4	20～30	40～
2060, 2540, 2540S, 2550S, 2550X, 4050X	D	○	○	○

タイプ	C ····· 26ページ　　D ····· 31ページ

●日立

FLORAシリーズ	タイプ	対応状況(Gバイト)		
		8.4	20～30	40～
250 [PC-5NU02-ZD7LA, PC-5NU02-QE7LA] , 270 [PC-5NH02-PE7LA3, PC-5NH02-PE7LB3, PC-5NH02-QE7LA3, PC-5NH02-QE7LB3, PC-7NH04-xxx] , 270V [PC-5NH03-xxx] , 270VX [PC1NH7-xxx]	H	○	－	－

FLORA Prius noteシリーズ	タイプ	対応状況(Gバイト)		
		8.4	20～30	40～
250 [PCT-250T15E]	H	○	－	－
270 [PCT-2702T23H, PCT-2703T23H] ※	H	○	○	○

※ スタンバイ、レジュームおよびサスペンド機能には対応しておりません。

タイプ	H ····· 46ページ

●IBM

ThinkPadシリーズ	タイプ	対応状況(Gバイト)		
		8.4	20～30	40～
380X [2635-GOJ] , 380XD [2635-(8AJ, 9AJ, AAJ, FAJ)]	D	○	－	－
390E [2626-(9OJ, 95J, BOJ, B5J, C5J, CAJ, DOJ, D5J)]	D	○	○	○
390E [2626-ENJ]	D	○	－	－
390X [2626-(FOJ, F5J, FNJ, GOJ, G5J, GNJ, HOJ, H5J, HNJ, JOJ, N5J, JNJ, LOJ, L5J, LNJ, MOJ, MNJ, NOJ, NNJ, POJ, P5J, PNJ)]	D	○	○	○
560Z [2640-(9YJ, BOJ)]	D	○	－	－
570 [2644-(1A7, 1B7, 1D7, 3A7, 3B7, AA7, BA7)] , 570E [2644-(5A7, 6A7)]	D	○	○	○
600 [2645-(41J, 46J, 51J, 53J, 55J, 86J)]	D	○	－	－
600E [2645-(3JJ, 3KJ, 3LJ, 4KJ, 4LJ, 4MJ, 5AJ, 5BJ)]	D	○	○	－
600E [2645-(8KJ, 8MJ)]	D	○	－	－
600X [2645-(3GJ, 3HJ, 4GJ, 4HJ, 5FJ, 5GJ, 7NJ, 8NJ, 9NJ)]	D	○	○	－
A20m [2628-(11J, 12J, 31J, 32J, 41J, 42J)] , A20p [2629-(61J, 62J, 6AJ, 6CJ)] , A21e [2628-(C1J, C2J, C7J, J1J, J2J, J7J)]	D	○	○	○

タイプ	D ····· 31ページ

●SONY

VAIOシリーズ	タイプ	対応状況(Gバイト)		
		8.4	20～30	40～
PCG-731, PCG-733(/A,/A3G), PCG-737/A4G, PCG-766/BP, PCG-767, PCG-777/BP	D	○※	－	－
PCG-803, PCG-808, PCG-861/BP, PCG-862, PCG-864, PCG-868, PCG-881/BP, PCG-883/BP, PCG-885, PCG-887(/BP,/BP2), PCG-888	D	○※	○※	○※
PCG-FX55G/BP	E	○	○	○
PCG-SR1G/BP, PCG-SR1M/BP, PCG-SR9G/K, PCG-SR9M/K	I	○	○	○
PCG-XR1G, PCG-XR1S/BP, PCG-XR1SA/BP, PCG-XR7G, PCG-XR7S, PCG-XR9G, PCG-XR9S	C	○	○	○

※ スタンバイ、レジュームおよびサスペンド機能には対応しておりません。

アクセスランプが点灯したままになる場合があります
その他の動作は正常です。問題なくお使いいただけます。

タイプ	C ····· 26ページ　D····· 31ページ　E ····· 36ページ I ····· 48ページ

●SHARP

Mebiusシリーズ	タイプ	対応状況(Gバイト)		
		8.4	20～30	40～
MN-390-X26※, MN-450-H23, MN-455-H26, MN-470-H30	D	○	－	－
MN-570-H23, MN-550-X20※, MN-550-X26※	C	○	－	－
PC-BJ100M	J	○	○	－
PC-FJ20, PC-FJ30, PC-FJ30Z, PC-FJ40	D	○	○	－
PC-RJ900V	C	○	○	－

※ スタンバイ、レジュームおよびサスペンド機能には対応しておりません。

タイプ	C ····· 26ページ　D····· 31ページ　J ····· 50ページ

●Compaq

ARMADAシリーズ	タイプ	対応状況(Gバイト)		
		8.4	20～30	40～
M700 アドバンテージモデル [205862-(292,298)]	D	○	○	－

タイプ	D ····· 31ページ

●EPSON DIRECT

EDi Cubeシリーズ	タイプ	対応状況(Gバイト)		
		8.4	20～30	40～
R230(H,P), R250(H,P), R330(H,P), R350(H,P), R430(H,P), R450(H,P), R530(H,P), R550(H,P), R730(H,P), R750(H,P), R755(H,P), R765(H,P), R830(H,P), R850(H,P), R855(H,P), R865(H,P), R885(H,P)	J	○	○	○

タイプ	J ····· 50ページ

対応OS

下表内のお使いのパソコンが対応しているOSでお使いいただけます。

対応OS(日本語版のみ)
Windows XP, Windows 2000, Windows Me, Windows 98 SE※1, Windows 98※1,Windows 95※2, Windows NT 4.0※3,Windows NT 3.51※4, Windows 3.1(MS-DOS Ver6.2/V以降)※5,MS-DOS Ver6.2/V以降※5

※1 64Gバイト以上の本製品では、FDISKのアップデートが必要です。
下のWebページをご覧になり、FDISKのアップデートを行ってください。

http://support.microsoft.com/default.aspx?scid=kb;ja;263044

※2 40Gバイト以上の本製品には対応しておりません。
※3 20Gバイト以上の本製品では、Service Pack 4以降が必要です。
※4 20Gバイト以上の本製品には対応しておりません。
※5 30Gバイト以上の本製品には対応しておりません。
また、20Gバイトの本製品も約8Gバイトとしてお使いいただくことになります。

取り付けよう

本製品をパソコンに取り付けます。
パソコンのタイプに応じて、必要な個所をご覧ください。

注意

金属製のものに触れ、静電気を逃がしてください
静電気が残っていると、パソコンや本製品の故障の原因となります。

参考

パソコンのタイプについて
詳細は、【動作環境の確認】(12ページ)をご覧ください。

イラストについて
お使いのパソコンと若干異なる場合があります。
パソコンの取扱説明書を参照しながら、作業を行ってください。

説明	
【Aタイプでの取り付け方】	次ページ
【Bタイプでの取り付け方】	24ページ
【Cタイプでの取り付け方】	26ページ
【Dタイプでの取り付け方】	31ページ
【Eタイプでの取り付け方】	36ページ
【Fタイプでの取り付け方】	40ページ
【Gタイプでの取り付け方】	43ページ
【Hタイプでの取り付け方】	46ページ
【Iタイプでの取り付け方】	48ページ
【Jタイプでの取り付け方】	50ページ

Aタイプでの取り付け方

1 パソコンの電源を切り、電源を取り外します。

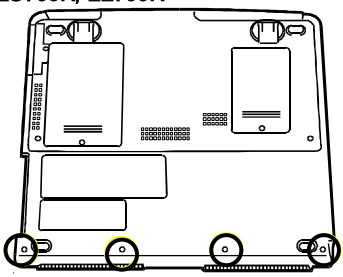
電源を切ったあと、ACアダプタとバッテリーを取り外します。
詳しくは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

2 パソコン底部のネジを外します。

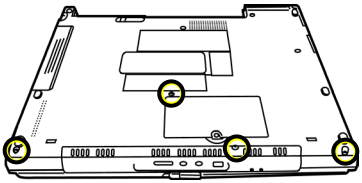
ネジの個所はパソコンによって異なります。

NEC 図解例

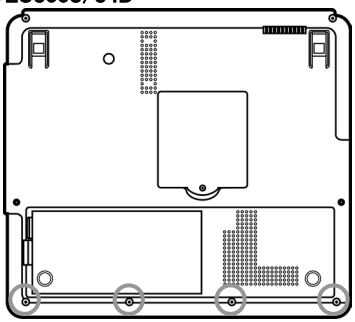
●LU700R, LL700R



●VA70J/VH



●LC800J/84D

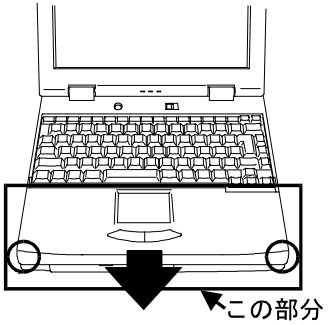


3 パソコンのキーボード手前部分を開きます。

図の部分を手前にゆっくりとスライドさせます。
少し手前に引いたら、ゆっくりと開いてください。

NEC 図解例

●LL700R



注意

無理な力を入れないでください

キーボード手前部分の内側には、ケーブルがつながっています。

参考

NEC PC98-NX LW23D/53D,VA23D,VA40Lの場合のコツ

上の図の〇部分を上に力を入れ、少し開いてから手前にスライドします。

パソコンの取扱説明書もご覧ください

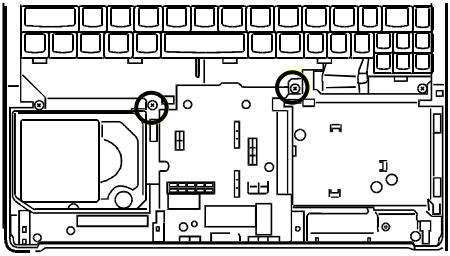
機種によっては、「メモリ増設」の関連ページにキーボード手前部分を取り外す方法が書かれています。

4 中央に金属板がある場合は、取り外します。

ネジはキーボードに隠れている場合があります。その場合、キーボードを少し上にずらしてください。

NEC 図解例

●LL700R

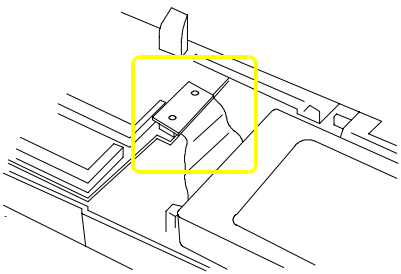


5 ハードディスクユニットを取り外します。

ハードディスクユニットをとめているネジを外します。
次に、ハードディスクユニットとパソコンをつなぐコネクタを外します。

NEC 図解例

●LL700R



注意

コネクタを取り外す際は・・・

向きなどを確認し、まんべんなく力を入れてください
無理に行うと、内蔵ハードディスクのコネクタのピンが折れたり、曲がったりして正常に動作しない原因となります。

参考

ハードディスクユニットとは
内蔵ハードディスクに金具やケーブルなどが付いたものです。

6 内蔵ハードディスクと本製品を入れ替えます。

ネジを外し、金具を取り外します。
ケーブルがある場合は、ケーブルを取り外します。
その後、内蔵ハードディスクと本製品を入れ替え、元に戻します。

注意

ケーブルのみを持って引っぱらない
ケーブルを破損するおそれがあります。
コネクタを持ち、慎重に取り外してください。

ケーブルを取り外す際は･･･
コネクタをつまんで、すきまを作ってから、マイナスドライバーなどでテコのように徐々にまんべんなく力を入れて取り外してください。
無理に行うと、内蔵ハードディスクのコネクタのピンが折れたり、曲がったりして正常に動作しない原因となります。

参考

ケーブルの幅が本製品のコネクタ幅より短い場合は
本製品のコネクタはピンが２つに分かれています。
大きい方のピンの固まりにケーブルを接続してください。

7 あとは、今までの手順を逆に進めてください。

注意

本製品を取り付ける際は･･･
向きを確認してから、取り付けてください。
無理に取り付けると、本製品のコネクタのピンが折れたり、曲がったりして正常に動作しない原因となります。

以上で取り付けは終了です。
【使えるようにしよう】(53ページ)にお進みください。

Bタイプでの取り付け方

1 パソコンの電源を切り、電源を取り外します。

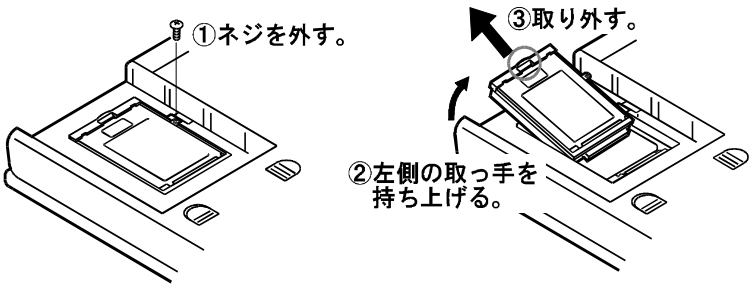
電源を切ったあと、ACアダプタとバッテリーを取り外します。
詳しくは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

2 ハードディスクユニットを取り外します。

①ハードディスクユニットを固定しているネジを外します。
②ハードディスクユニットの左側の取っ手を持ち上げます。
③ハードディスクユニットを取り外します。

NEC 図解例

●VA36D/WX



参考

ハードディスクユニットとは
内蔵ハードディスクに金具やケーブルなどが付いたものです。

3 内蔵ハードディスクと本製品を入れ替えます。

ネジを外し、金具を取り外します。
ケーブルがある場合は、ケーブルを取り外します。
その後、内蔵ハードディスクと本製品を入れ替え、元に戻します。

ケーブルのみを持って引っぱらない
ケーブルを破損するおそれがあります。
コネクタを持ち、慎重に取り外してください。

ケーブルを取り外す際は･･･
コネクタをつまんで、すきまを作ってから、マイナスドライバーなどでテコのように徐々にまんべんなく力を入れて取り外してください。
無理に行うと、内蔵ハードディスクのコネクタのピンが折れたり、曲がったりして正常に動作しない原因となります。

ケーブルの幅が本製品のコネクタ幅より短い場合は
本製品のコネクタはピンが２つに分かれています。
大きい方のピンの固まりにケーブルを接続してください。

4 あとは、今までの手順を逆に進めてください。

本製品を取り付ける際は･･･
向きを確認してから、取り付けてください。
無理に取り付けると、本製品のコネクタのピンが折れたり、曲がったりして正常に動作しない原因となります。

以上で取り付けは終了です。
【使えるようにしよう】(53ページ)にお進みください。

Cタイプでの取り付け方

1 パソコンの電源を切り、電源を取り外します。

電源を切ったあと、ACアダプタとバッテリーを取り外します。
詳しくは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

2 パソコン底面のふたを外します。

ふたの個所はパソコンによって異なります。

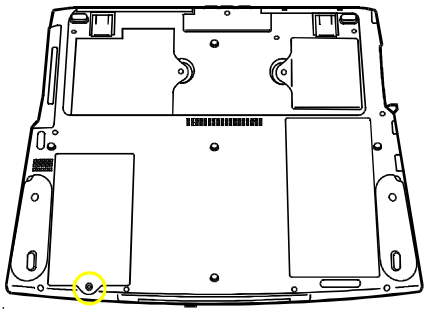
参考

ふたが外れにくい場合

ふたには、上に持ち上げる物とスライドする物があります。
外し方を変えてみてください。

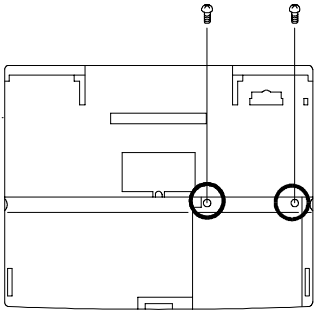
NEC 図解例

●LS800J/56D

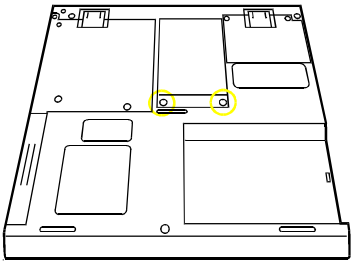


富士通 図解例

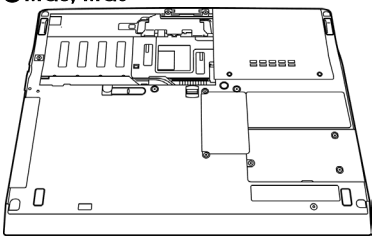
●5233NP/W, NPⅦ20D, NPⅦ23



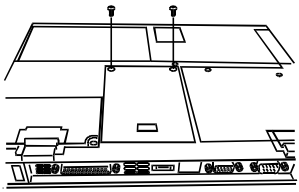
●6400NU4/L



●MG8, MG9

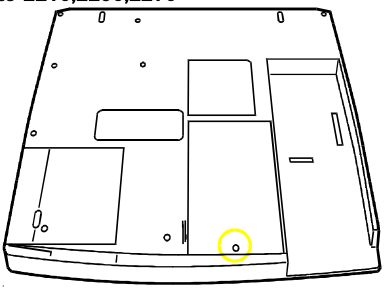


●NE2/43L



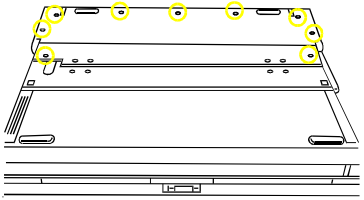
東芝 図解例

●Satellite 2210,2250,2270

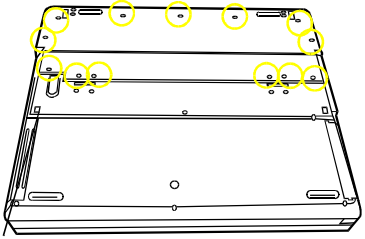


SONY 図解例

●PCG-XR1G

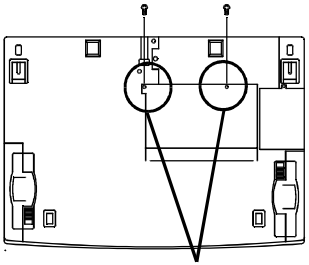


●PCG-XR7S



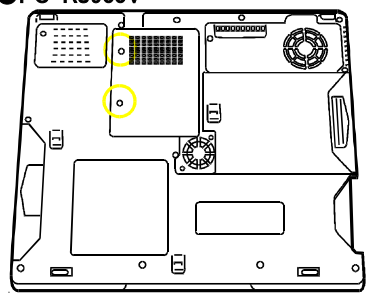
SHARP 図解例

●MN-570-H23



このネジを外します。

●PC-RJ900V



3 ハードディスクユニットを取り外します。

① ハードディスクユニットをとめているネジがある場合は、外します。
② ハードディスクユニットとパソコンをつなぐコネクタを外します。
③ ハードディスクユニットを取り出します。

注意

コネクタを取り外す際は･･･
向きなどを確認し、まんべんなく力を入れてください
無理に行うと、内蔵ハードディスクのコネクタのピンが折れたり、曲がったりして正常に動作しない原因となります。

参考

ハードディスクユニットとは
内蔵ハードディスクに金具やケーブルなどが付いたものです。

ハードディスクユニットの上に板がある場合は
板（インタークーラーフラップ）を持ち上げてください。

4 内蔵ハードディスクと本製品を入れ替えます。

ネジを外し、金具を取り外します。
ケーブルがある場合は、ケーブルを取り外します。
その後、内蔵ハードディスクと本製品を入れ替え、元に戻します。

注意

ケーブルのみを持って引っぱらない
ケーブルを破損するおそれがあります。
コネクタを持ち、慎重に取り外してください。

ケーブルを取り外す際は･･･
コネクタをつまんで、すきまを作ってから、マイナスドライバーなどでテコのように徐々にまんべんなく力を入れて取り外してください。
無理に行うと、内蔵ハードディスクのコネクタのピンが折れたり、曲がったりして正常に動作しない原因となります。

参考

ケーブルの幅が本製品のコネクタ幅より短い場合は
本製品のコネクタはピンが２つに分かれています。
大きい方のピンの固まりにケーブルを接続してください。

5 あとは、今までの手順を逆に進めてください。

本製品を取り付ける際は･･･
向きを確認してから、取り付けてください。
無理に取り付けると、本製品のコネクタのピンが折れたり、曲がったりして正常に動作しない原因となります。

以上で取り付けは終了です。
【使えるようにしよう】(53ページ)にお進みください。

SONY製ノートパソコンに取り付けた場合
アクセスランプが点灯したままになる場合がありますが、その他の動作は正常です。問題なくお使いいただけます。

Dタイプでの取り付け方

1 パソコンの電源を切り、電源を取り外します。

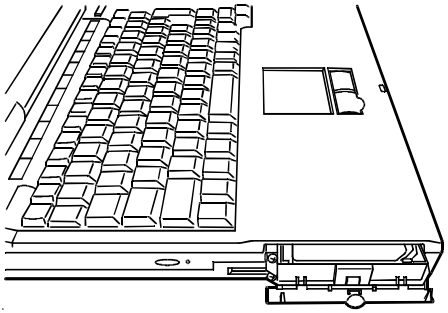
電源を切ったあと、ACアダプタとバッテリーを取り外します。
詳しくは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

2 パソコン側面のふたを外します。

ふたの個所はパソコンによって異なります。

NEC 図解例

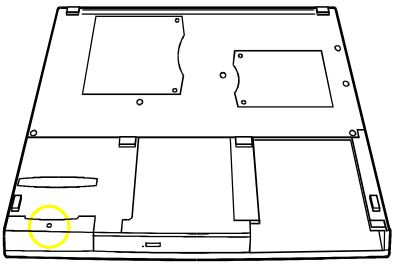
●LC600J



富士通 図解例

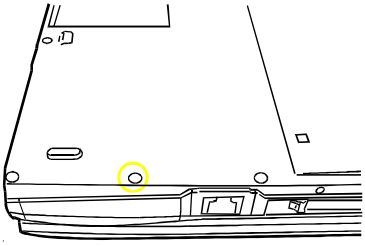
●6750NA7/B

〇のネジを外す

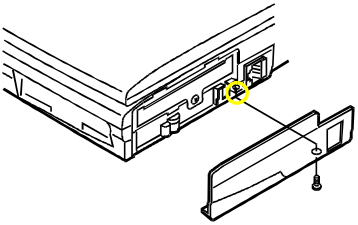


東芝 図解例

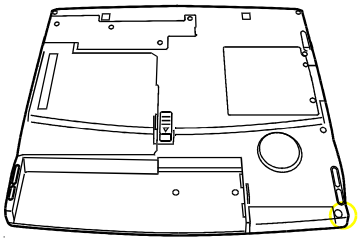
●Satellite 2520,4100X



●Satellite 4240,4260,4320,4360

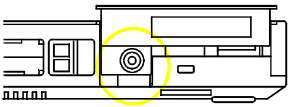


●TECRA 8100

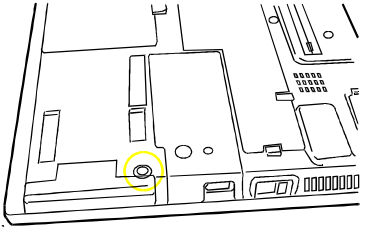


IBM 図解例

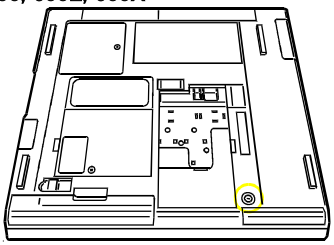
●380XD



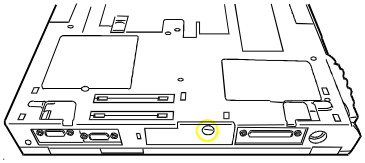
●560Z,570



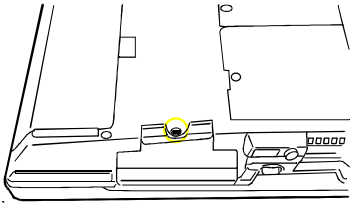
●600, 600E, 600X



●390E,390X

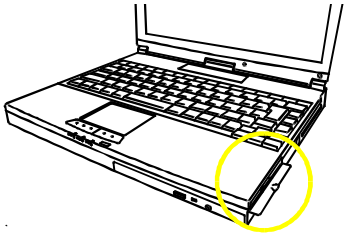


●A21e

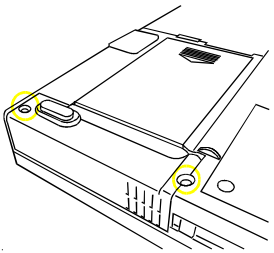


SHARP 図解例

●MN-450-H23

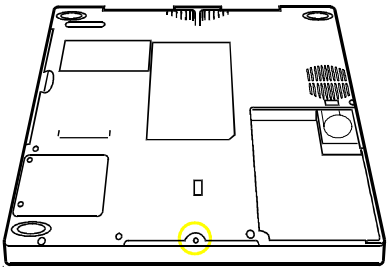


●PC-FJ20



Compaq 図解例

●M700



3 ハードディスクユニットを取り外します。

① ハードディスクユニットをとめているネジがある場合は、外します。

② ハードディスクユニットを取り出します。

注意

コネクタを取り外す際は･･･

コネクタをつまんで、すきまを作ってから、マイナスドライバーなどでテコのように徐々にまんべんなく力を入れて取り外してください。

無理に行うと、内蔵ハードディスクのコネクタのピンが折れたり、曲がったりして正常に動作しない原因となります。

フィルムケーブルがつながっている場合があります

引っぱらないようにご注意ください。

参考

ハードディスクユニットとは

内蔵ハードディスクに金具やケーブルなどが付いたものです。

4 内蔵ハードディスクと本製品を入れ替えます。

ネジを外し、金具を取り外します。
ケーブルがある場合は、ケーブルを取り外します。
その後、内蔵ハードディスクと本製品を入れ替え、元に戻します。

ケーブルのみを持って引っぱらない
ケーブルを破損するおそれがあります。
コネクタを持ち、慎重に取り外してください。

ケーブルを取り外す際は･･･
コネクタをつまんで、すきまを作ってから、マイナスドライバーなどでテコのように徐々にまんべんなく力を入れて取り外してください。
無理に行うと、内蔵ハードディスクのコネクタのピンが折れたり、曲がったりして正常に動作しない原因となります。

ケーブルの幅が本製品のコネクタ幅より短い場合は
本製品のコネクタはピンが２つに分かれています。
大きい方のピンの固まりにケーブルを接続してください。

5 あとは、今までの手順を逆に進めてください。

本製品を取り付ける際は･･･
向きを確認してから、取り付けてください。
無理に取り付けると、本製品のコネクタのピンが折れたり、曲がったりして正常に動作しない原因となります。

以上で取り付けは終了です。
【使えるようにしよう】(53ページ)にお進みください。

SONY製ノートパソコンに取り付けた場合
アクセスランプが点灯したままになる場合がありますが、その他の動作は正常です。問題なくお使いいただけます。

Eタイプでの取り付け方

1 パソコンの電源を切り、電源を取り外します。

電源を切ったあと、ACアダプタとバッテリーを取り外します。
詳しくは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

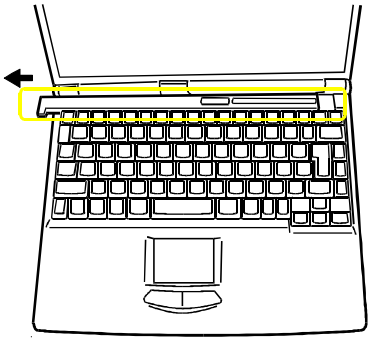
2 キーボードの上にあるふたを取り外します。

注意

無理な力を入れないでください
ふたの内側には、ケーブルがつながっている場合があります。
ケーブルが外れないようにご注意ください。

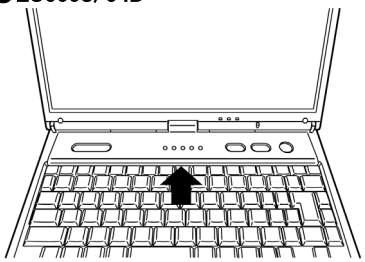
NEC 図解例

●VA36D/TX



左にスライドして取り外します。

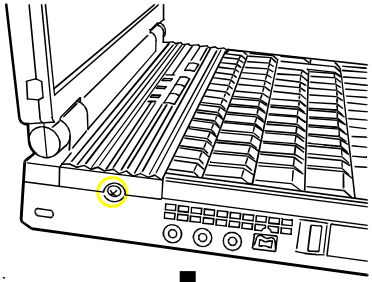
●LC600J/54D



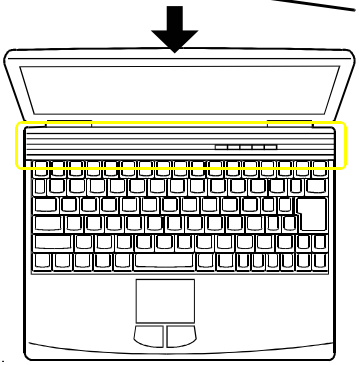
中央にマイナスドライバーなどを入れ、ゆっくりと取り外します。ツメや両面テープによって固定されていますので、ツメを壊さないようにご注意ください。

SONY 図解例

●PCG-FX55G/BP



パソコン左側面のネジを外します。



図の部分を右に少しずらした後、液晶側に開いてください。

3 キーボードを取り外します。

液晶に柔らかい布などをかけておきます。
キーボードを軽く浮かせ、液晶側に倒します。

注意

無理な力を入れないでください
キーボードの内側には、ケーブルがつながっています。
ケーブルが外れないようにご注意ください。

液晶部分には柔らかい布などをかけてください
キーボードで液晶部分を傷つけないようにしてください。

参考

SONY PCG-FX55G/BPの場合
キーボードは、取り外したふたの下にあるネジで留められています。

4 ハードディスクユニットを取り外します。

① ハードディスクユニットをとめているネジがある場合は、外します。

② ハードディスクユニットを取り出します。

注意

コネクタを取り外す際は･･･

コネクタをつまんで、すきまを作ってから、マイナスドライバーなどでテコのように徐々にまんべんなく力を入れて取り外してください。

無理に行うと、内蔵ハードディスクのコネクタのピンが折れたり、曲がったりして正常に動作しない原因となります。

フィルムケーブルがつながっている場合があります

引っぱらないようにご注意ください。

参考

ハードディスクユニットとは

内蔵ハードディスクに金具やケーブルなどが付いたものです。

5 内蔵ハードディスクと本製品を入れ替えます。

ネジを外し、金具を取り外します。

ケーブルがある場合は、ケーブルを取り外します。

その後、内蔵ハードディスクと本製品を入れ替え、元に戻します。

注意

ケーブルのみを持って引っぱらない

ケーブルを破損するおそれがあります。

コネクタを持ち、慎重に取り外してください。

ケーブルを取り外す際は･･･

コネクタをつまんで、すきまを作ってから、マイナスドライバーなどでテコのように徐々にまんべんなく力を入れて取り外してください。

無理に行うと、内蔵ハードディスクのコネクタのピンが折れたり、曲がったりして正常に動作しない原因となります。

参考

ケーブルの幅が本製品のコネクタ幅より短い場合は

本製品のコネクタはピンが２つに分かれています。

大きい方のピンの固まりにケーブルを接続してください。

6 あとは、今までの手順を逆に進めてください。

本製品を取り付ける際は･･･
向きを確認してから、取り付けてください。
無理に取り付けると、本製品のコネクタのピンが折れたり、曲がったりして正常に動作しない原因となります。

以上で取り付けは終了です。
【使えるようにしよう】(53ページ)にお進みください。

SONY製ノートパソコンに取り付けた場合
アクセスランプが点灯したままになる場合がありますが、その他の動作は正常です。問題なくお使いいただけます。

Fタイプでの取り付け方

1 パソコンの電源を切り、電源を取り外します。

電源を切ったあと、ACアダプタとバッテリーを取り外します。
詳しくは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

2 フロッピーディスクドライブを取り外します。

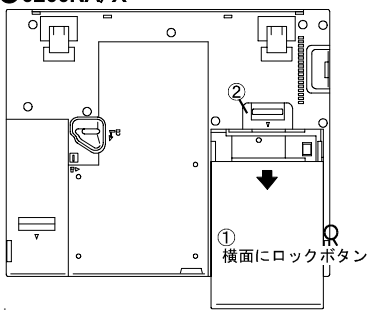
フロッピーディスクドライブはパソコン底面から外します。
フロッピーディスクドライブの個所はパソコンによって異なります。
⇒フロッピーディスクドライブの下にハードディスクユニットがあります。

参考

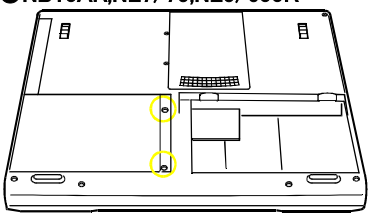
フロッピーディスクドライブの取り外し方について
ケーブルがつながっている機種もありますので、ケーブルを破損しないよう慎重に作業を行ってください。

富士通 図解例

●6266NA/X



●NB10AR,NE7/75,NE5/600R



3 ハードディスクユニットを取り外します。

① ハードディスクユニットをとめているネジがある場合は、外します。

② ハードディスクユニットを取り出します。

注意

コネクタを取り外す際は･･･

コネクタをつまんで、すきまを作ってから、マイナスドライバーなどでテコのように徐々にまんべんなく力を入れて取り外してください。

無理に行うと、内蔵ハードディスクのコネクタのピンが折れたり、曲がったりして正常に動作しない原因となります。

参考

ハードディスクユニットとは

内蔵ハードディスクに金具やケーブルなどが付いたものです。

4 内蔵ハードディスクと本製品を入れ替えます。

ネジを外し、金具を取り外します。

ケーブルがある場合は、ケーブルを取り外します。

その後、内蔵ハードディスクと本製品を入れ替え、元に戻します。

注意

ケーブルのみを持って引っぱらない

ケーブルを破損するおそれがあります。

コネクタを持ち、慎重に取り外してください。

ケーブルを取り外す際は･･･

コネクタをつまんで、すきまを作ってから、マイナスドライバーなどでテコのように徐々にまんべんなく力を入れて取り外してください。

無理に行うと、内蔵ハードディスクのコネクタのピンが折れたり、曲がったりして正常に動作しない原因となります。

参考

ケーブルの幅が本製品のコネクタ幅より短い場合は

本製品のコネクタはピンが２つに分かれています。

大きい方のピンの固まりにケーブルを接続してください。

5 あとは、今までの手順を逆に進めてください。

本製品を取り付ける際は･･･
向きを確認してから、取り付けてください。
無理に取り付けると、本製品のコネクタのピンが折れたり、曲がったりして正常に動作しない原因となります。

以上で取り付けは終了です。
【使えるようにしよう】(53ページ)にお進みください。

Gタイプでの取り付け方

1 パソコンの電源を切り、電源を取り外します。

電源を切ったあと、ACアダプタとバッテリーを取り外します。
詳しくは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

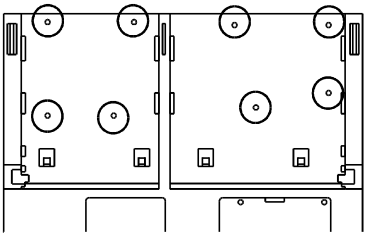
2 フロッピーディスクドライブとCD-ROMドライブを取り外します。

詳しくは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

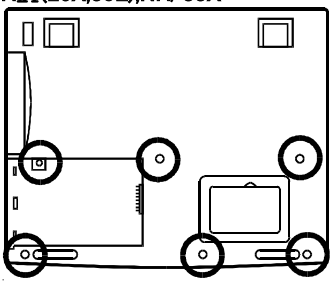
3 パソコン底面のネジを外します。

富士通 図解例

●NUV16



●NRⅨ(26X,30L),NR/33X



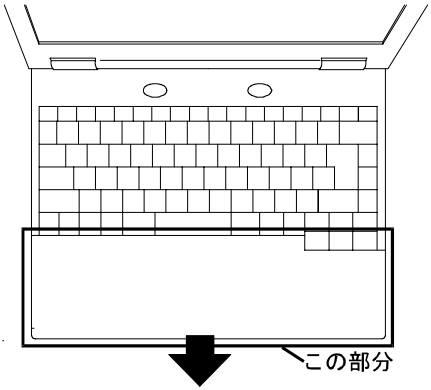
4 パソコンのキーボード手前部分を取り外します。

図の部分を手前にゆっくりとスライドさせます。
少し手前に引いたら、ゆっくりと開いてください。

無理な力を入れないでください
キーボード手前部分の内側には、ケーブルがつながっている場合があります。
この場合は、裏返すようにキーボード側に倒してください。

富士通 図解例

●NUV16



5 ハードディスクユニットを取り外します。

① ハードディスクユニットをとめているネジがある場合は、外します。
② ハードディスクユニットを取り出します。

コネクタを取り外す際は･･･
コネクタをつまんで、すきまを作ってから、マイナスドライバーなどでテコのように徐々にまんべんなく力を入れて取り外してください。
無理に行うと、内蔵ハードディスクのコネクタのピンが折れたり、曲がったりして正常に動作しない原因となります。

フィルムケーブルがつながっている場合があります
引っぱらないようにご注意ください。

参考

ハードディスクユニットとは
内蔵ハードディスクに金具やケーブルなどが付いたものです。

6 内蔵ハードディスクと本製品を入れ替えます。

ネジを外し、金具を取り外します。
ケーブルがある場合は、ケーブルを取り外します。
その後、内蔵ハードディスクと本製品を入れ替え、元に戻します。

注意

ケーブルのみを持って引っぱらない
ケーブルを破損するおそれがあります。
コネクタを持ち、慎重に取り外してください。

ケーブルを取り外す際は･･･
コネクタをつまんで、すきまを作ってから、マイナスドライバーなどでテコのように徐々にまんべんなく力を入れて取り外してください。
無理に行うと、内蔵ハードディスクのコネクタのピンが折れたり、曲がったりして正常に動作しない原因となります。

参考

ケーブルの幅が本製品のコネクタ幅より短い場合は
本製品のコネクタはピンが２つに分かれています。
大きい方のピンの固まりにケーブルを接続してください。

7 あとは、今までの手順を逆に進めてください。

注意

本製品を取り付ける際は･･･
向きを確認してから、取り付けてください。
無理に取り付けると、本製品のコネクタのピンが折れたり、曲がったりして正常に動作しない原因となります。

以上で取り付けは終了です。
【使えるようにしよう】(53ページ)にお進みください。

Hタイプでの取り付け方

1 パソコンの電源を切り、電源を取り外します。

電源を切ったあと、ACアダプタとバッテリーを取り外します。
詳しくは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

2 ハードディスクユニットを取り外します。

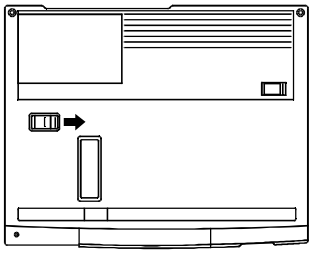
パソコン底面のスロットをずらしながら、ハードディスクユニットを引っぱり出します。
スロットの位置については、機種ごとに異なります。

参考

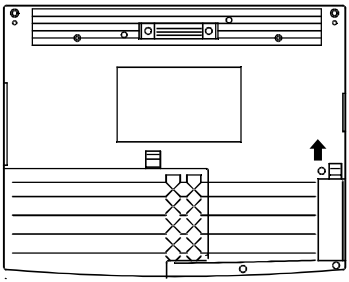
ハードディスクユニットとは
内蔵ハードディスクに金具やケーブルなどが付いたものです。

日立 図解例

●270



●250



3 内蔵ハードディスクと本製品を入れ替えます。

ネジを外し、金具を取り外します。
ケーブルがある場合は、ケーブルを取り外します。
その後、内蔵ハードディスクと本製品を入れ替え、元に戻します。

ケーブルのみを持って引っぱらない
ケーブルを破損するおそれがあります。
コネクタを持ち、慎重に取り外してください。

ケーブルを取り外す際は･･･
コネクタをつまんで、すきまを作ってから、マイナスドライバーなどでテコのように徐々にまんべんなく力を入れて取り外してください。
無理に行うと、内蔵ハードディスクのコネクタのピンが折れたり、曲がったりして正常に動作しない原因となります。

ケーブルの幅が本製品のコネクタ幅より短い場合は
本製品のコネクタはピンが２つに分かれています。
大きい方のピンの固まりにケーブルを接続してください。

4 あとは、今までの手順を逆に進めてください。

本製品を取り付ける際は･･･
向きを確認してから、取り付けてください。
無理に取り付けると、本製品のコネクタのピンが折れたり、曲がったりして正常に動作しない原因となります。

以上で取り付けは終了です。
【使えるようにしよう】(53ページ)にお進みください。

Iタイプでの取り付け方

1 パソコンの電源を切り、電源を取り外します。

電源を切ったあと、ACアダプタとバッテリーを取り外します。
詳しくは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

2 パームレストを裏返す。

取扱説明書にある「メモリを増設する」ための説明をご覧になり、パームレストを開いて裏返してください。
⇒パームレストの下にハードディスクユニットがあります。

参考

ハードディスクユニットとは
内蔵ハードディスクに金具やケーブルなどが付いたものです。

3 ハードディスクユニットを取り外します。

① ハードディスクユニットをとめているネジがある場合は、外します。
② ハードディスクユニットを取り出します。

4 内蔵ハードディスクと本製品を入れ替えます。

ネジを外し、金具を取り外します。
ケーブルがある場合は、ケーブルを取り外します。
その後、内蔵ハードディスクと本製品を入れ替え、元に戻します。

注意

ケーブルのみを持って引っぱらない
ケーブルを破損するおそれがあります。
コネクタを持ち、慎重に取り外してください。

ケーブルを取り外す際は･･･
コネクタをつまんで、すきまを作ってから、マイナスドライバーなどでテコのように徐々にまんべんなく力を入れて取り外してください。
無理に行うと、内蔵ハードディスクのコネクタのピンが折れたり、曲がったりして正常に動作しない原因となります。

ケーブルの幅が本製品のコネクタ幅より短い場合は
本製品のコネクタはピンが２つに分かれています。
大きい方のピンの固まりにケーブルを接続してください。

5 あとは、今までの手順を逆に進めてください。

本製品を取り付ける際は･･･
向きを確認してから、取り付けてください。
無理に取り付けると、本製品のコネクタのピンが折れたり、曲がったりして正常に動作しない原因となります。

以上で取り付けは終了です。
【使えるようにしよう】(53ページ)にお進みください。

SONY製ノートパソコンに取り付けた場合
アクセスランプが点灯したままになる場合がありますが、その他の動作は正常です。問題なくお使いいただけます。

Jタイプでの取り付け方

1 パソコンの電源を切り、電源を取り外します。

電源を切ったあと、ACアダプタとバッテリーを取り外します。
詳しくは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

2 ハードディスクユニットを取り外します。

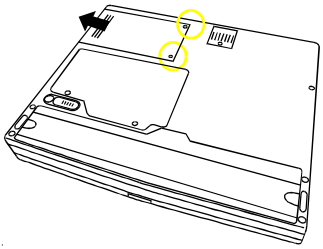
パソコン底面のネジを外し、ハードディスクユニットをスライドして取り外します。

参考

ハードディスクユニットとは
内蔵ハードディスクに金具やケーブルなどが付いたものです。

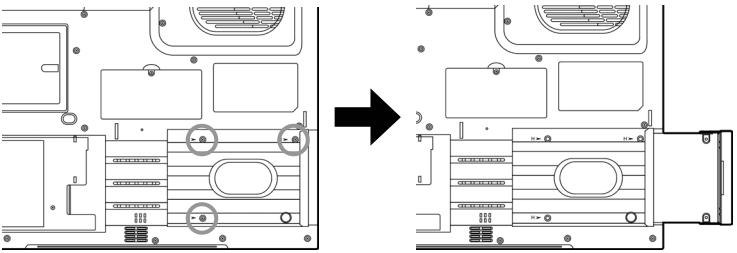
SHARP 図解例

●PC-BJ100M



EPSON DIRECT 図解例

●EDi Cube R



3 内蔵ハードディスクと本製品を入れ替えます。

ネジを外し、金具を取り外します。
ケーブルがある場合は、ケーブルを取り外します。
その後、内蔵ハードディスクと本製品を入れ替え、元に戻します。

ケーブルのみを持って引っぱらない
ケーブルを破損するおそれがあります。
コネクタを持ち、慎重に取り外してください。

ケーブルを取り外す際は･･･
コネクタをつまんで、すきまを作ってから、マイナスドライバーなどでテコのように徐々にまんべんなく力を入れて取り外してください。
無理に行うと、内蔵ハードディスクのコネクタのピンが折れたり、曲がったりして正常に動作しない原因となります。

ケーブルの幅が本製品のコネクタ幅より短い場合は
本製品のコネクタはピンが２つに分かれています。
大きい方のピンの固まりにケーブルを接続してください。

4 あとは、今までの手順を逆に進めてください。

本製品を取り付ける際は･･･
向きを確認してから、取り付けてください。
無理に取り付けると、本製品のコネクタのピンが折れたり、曲がったりして正常に動作しない原因となります。

以上で取り付けは終了です。
【使えるようにしよう】(53ページ)にお進みください。

Memo

使えるようにしよう

本製品を使えるようにします。
パソコンの機種によって、作業手順が異なります。

参考

パソコンの取扱説明書も同時にご覧ください
手順や注意事項が若干異なる場合があります。

メーカー	機種	本製品容量	説明	ページ
NEC	VAシリーズ※1	40GB～	Ｎ２	55
		～40GB	Ｎ１	54
	LA,LC,LWシリーズ※2	40GB～	Ｎ３	59
		～40GB	Ｎ１	54
	その他	－	Ｎ１	54
富士通	5166NU8/W, 5200NA8/W, 5200NA8/X, NUV16, NUV16D, NUV16X	8.4GB	Ｆ２	64
		それ以外	Ｆ１	61
	MG8/75, MG8/800, MG9(/850,/850M,/85C), NB8(/90D,/90DR), NB9(/90R,/95), NB10A, NB10AR	－	Ｆ３	65
	その他	－	Ｆ１	61
東芝	－	－	ＡＬ	54
日立	－	－	ＨＴ	66
IBM	390,560,570,600シリーズ	－	Ｉ１	67
	380シリーズ	－	Ｉ２	68
	A20m,A20p,A21eシリーズ	－	Ｉ３	69
SONY	－	－	ＡＬ	54
SHARP	－	－	ＡＬ	54
Compaq	－	－	ＡＬ	54
EPSON DIRECT	－	－	ＡＬ	54

※1 Windows 98モデルのみ。当てはまらない場合は、「その他」の機種となります。
※2 Windows 98(SE含む)モデルのみ。当てはまらない場合は、「その他」の機種となります。

AL:取扱説明書をご覧ください

● **パソコンの取扱説明書を参考に、再セットアップします。**

パソコンの取扱説明書をご覧になり、Windowsの再セットアップを行ってください。

N1:NEC一般

1 「システムインストールディスク(起動用)」を挿入します。

パソコンに添付されている「システムインストールディスク(起動用)」をフロッピーディスクドライブに挿入します。
詳しくは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

2 パソコンの電源を入れます。

3 「カスタム再セットアップモード」を実行します。

詳しくは、パソコンの取扱説明書の【カスタム再セットアップする】をご覧ください。

参考

「標準再セットアップモード」を実行してしまった場合・・・

［F3］キーを押して、セットアップを中断してください。
その後、手順**2**からやり直してください。

パーティションの最大容量について

制限がある場合があります。
詳しくは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

あとは、画面の指示とパソコンの取扱説明書に従ってください。

N2：NEC 一部のVAシリーズ

1 「システムインストールディスク(起動用)」を挿入します。

パソコンに添付されている「システムインストールディスク(起動用)」をフロッピーディスクドライブに挿入します。
詳しくは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

2 パソコンの電源を入れます。

3 「標準再セットアップモード」を実行します。

詳しくは、パソコンの取扱説明書の【標準再セットアップする】をご覧ください。

参考

「カスタム再セットアップモード」を実行してしまった場合・・・
［F3］キーを押して、セットアップを中断してください。
その後、手順**2**からやり直してください。

4 再セットアップが終わったら、Windowsを起動します。

5 Dドライブを確認します。

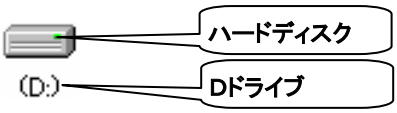
①デスクトップ上にある［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリックします。
②Dドライブがハードディスクかどうか確認します。

ハードディスクであった場合

次にお進みください。

ハードディスクではない場合

手順**16**にお進みください。



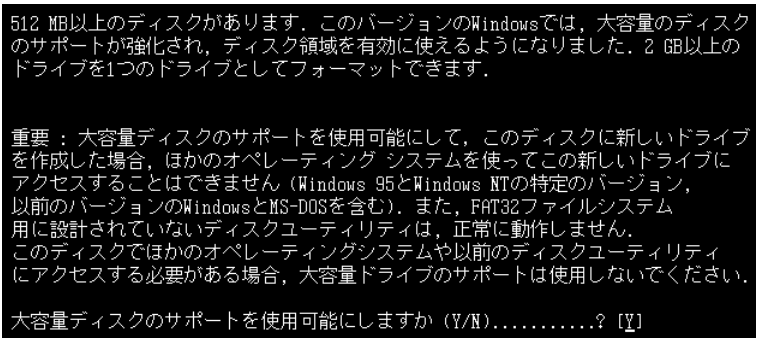
6 パソコンを「Command Prompt Only」で起動します。

［Ctrl］キーを押したまま、パソコンを再起動します。
メニューから［Command Prompt Only］を選択します。
※メニューが表示されない時は、パソコンが起動している途中で
［Ctrl］キーを押したり、はなしたりしてください。

7 FDISKと入力し、[Enter]キーを押します。

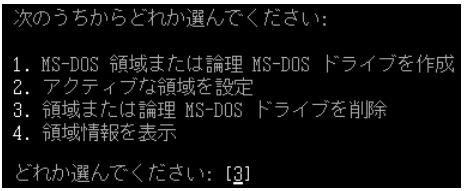
8 下の画面が表示された場合は、[Y]を入力します。

下の参考をご覧になり、［Y］を入力して［Enter］キーを押します。



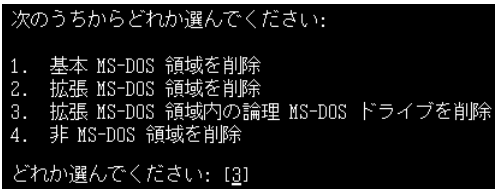
9 「領域または論理MS-DOSドライブを削除」を選択します。

［3］（領域または論理MS-DOSドライブを削除）を入力し、［Enter］キーを押します。



10 「拡張MS-DOS領域内の論理MS-DOSドライブ･･･」を選択します。

［3］（拡張MS-DOS領域内の論理MS-DOSドライブを削除）を入力し、［Enter］キーを押します。



11 Dドライブを削除します。

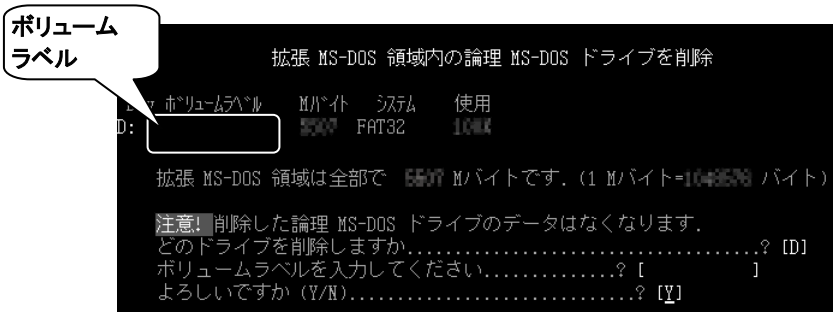
①「どのドライブを削除しますか」と表示されたら、「D」を入力し、［Enter］キーを押します。

②「ボリュームラベルを入力してください」と表示されたら、上の「ボリュームラベル」を見て同じものを入力し、［Enter］キーを押します。

※何も書いていない場合は、そのまま［Enter］キーを押します。

③「よろしいですか」と表示されたら、「Y」を入力し、［Enter］キーを押します。

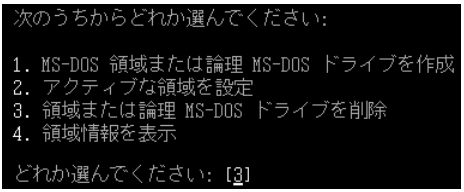
⇒Dドライブが削除されます。



12 「領域または論理MS-DOSドライブを削除」を選択します。

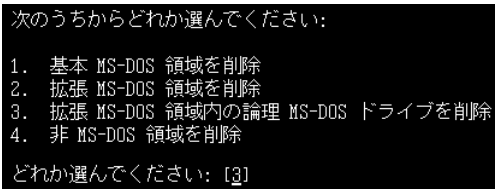
①［Esc］キーを２回押し、下の画面に戻ります。

②［3］（領域または論理MS-DOSドライブを削除）を入力し、［Enter］キーを押します。



13 「拡張MS-DOS領域内の論理MS-DOSドライブ･･･」を選択します。

［2］（拡張MS-DOS領域を削除）を入力し、［Enter］キーを押します。



14 「Y」を入力し、[Enter]キーを押します。

15 FDISKを終了し、パソコンを再起動します。

16 残りの容量を確保します。

この作業では、本製品の容量の一部だけが使えるようになっています。
下の注意をご覧になり、残りの容量を確保してください。

残り容量を確保してください

この作業だけでは、本製品の全ての容量を使えるようになっていません。
【容量の確保方法】(75ページ)の作業をしてください。

N3：NEC 一部のLA, LC, LWシリーズ

参考

30Gバイト以下の本製品の場合は･･･
こちらの手順で行う必要はありません。【ＡＬ】(54ページ)をご覧ください。

1 Windowsの起動ディスクを挿入し、パソコンの電源を入れます。

⇒起動ディスクでパソコンが起動します。
画面の指示に従って、起動ディスクを入れ替えてください。

注意

Windowsの起動ディスクがない
本手順には、Windowsの起動ディスクが必要です。
ハードディスクを元に戻し、起動ディスクを作ってください。
方法については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

64Gバイト以上の本製品をお使いの場合
起動ディスクを作る前に、FDISKのアップデートが必要です。
下のWebページをご覧になり、FDISKのアップデートを行ってください。
http://support.microsoft.com/default.aspx?scid=kb;ja;263044

2 起動が終わったら、起動ディスク#1に戻します。

DOSプロンプト（A:¥>）が表示されたら、起動ディスクを1枚目に戻します。

3 FDISKと入力し、[Enter]キーを押します。

4 下の画面が表示された場合は、[Y]を入力します。

下の参考をご覧になり、［Y］を入力して［Enter］キーを押します。

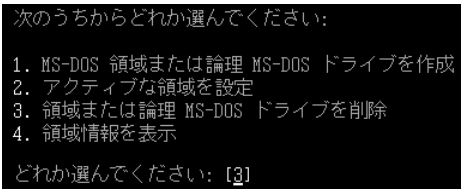
```
512 MB以上のディスクがあります．このバージョンのWindowsでは，大容量のディスク
のサポートが強化され，ディスク領域を有効に使えるようになりました．2 GB以上の
ドライブを1つのドライブとしてフォーマットできます．


重要 : 大容量ディスクのサポートを使用可能にして，このディスクに新しいドライブ
を作成した場合，ほかのオペレーティング システムを使ってこの新しいドライブに
アクセスすることはできません（Windows 95とWindows NTの特定のバージョン，
以前のバージョンのWindowsとMS-DOSを含む）．また，FAT32ファイルシステム
用に設計されていないディスクユーティリティは，正常に動作しません．
このディスクでほかのオペレーティングシステムや以前のディスクユーティリティ
にアクセスする必要がある場合，大容量ドライブのサポートは使用しないでください．

大容量ディスクのサポートを使用可能にしますか（Y/N).....? [Y]
```

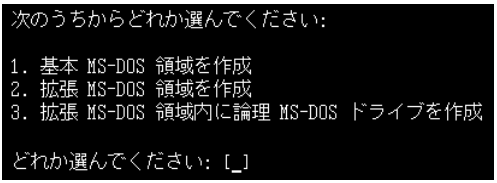
5 「MS-DOS領域または論理MS-DOS･･･」を選択します。

［1］（MS-DOS領域または論理MS-DOSドライブを作成）を入力し、
［Enter］キーを押します。



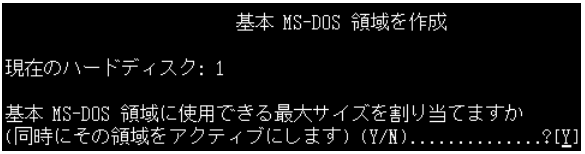
6 「基本MS-DOS領域を作成」を選択します。

［1］（基本MS-DOS領域を作成）を入力し、［Enter］キーを押します。



7 [Y]を入力し、[Enter]キーを押します。

⇒全容量を使ったドライブが作成されます。



8 [ESC]キーを押します。

9 「システムインストールディスク(起動用)」に入れ替えます。

フロッピーディスクドライブからWindowsの起動ディスクを取り出します。
その後、「システムインストールディスク(起動用)」を挿入します。

10 パソコンを再起動します。

［Ctrl］+［Alt］+［Delete］キーを同時に押し、パソコンを再起動します。

11 「Cドライブのみを再セットアップ」を実行します。

詳しくは、パソコンの取扱説明書の【Cドライブのみを再セットアップ（カスタム再セットアップ）】をご覧ください。

参考

その他の再セットアップを実行してしまった場合･･･

［F3］キーを押して、セットアップを中断してください。
その後、手順*10*からやり直してください。

F1:富士通 一般

1 パソコンの電源を入れます。

2 パソコン添付のディスクを挿入します。

パソコンに添付されている「CD-ROMセットアップ起動ディスク」または「リカバリCD-ROMディスク」を挿入します。

3 パソコンの画面を確認します。

ここで表示される画面によって方法が異なります。

表示された画面	方法	
黒い画面にA:¥>	【●A:¥>と表示された場合】	次ページ
セットアップメニュー	【●セットアップメニューが表示された場合】	63ページ

参考

挿入したディスクが認識されなかった場合

パソコンの電源を入れ直してください。

●A:¥>と表示された場合

4 FDISKを行います。

［FDISK］と入力し、［Enter］キーを押します。

※パソコンの取扱説明書に「FDISK /X ↵ と入力してください」と記述されている場合は［FDISK /X］と入力してください。

あとは、画面の指示およびパソコンの取扱説明書をご覧ください。

注意

基本領域のみ設定してください

再セットアップ後に、残りの容量を確保します。

参考

区画（パーティション）の最大容量について

制限がある場合があります。

詳しくは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

5 FORMATを行います。

［FORMAT C:］と入力し、［Enter］キーを押します。

あとは、画面の指示およびパソコンの取扱説明書をご覧ください。

6 パソコンをリセットします。

手順**2**で挿入したディスクは入れたままにしてください。

⇒再び、黒い画面にA:¥>と表示されます。

7 [RECOVERY]を行います。

［RECOVERY］と入力し、［Enter］キーを押します。

あとは、画面の指示およびパソコンの取扱説明書をご覧ください。

注意

残り容量を確保してください

この作業だけでは、本製品の全ての容量を使えるようになっていません。

【容量の確保方法】(75ページ)の作業をしてください。

参考

サスペンドディスクを使う場合

サスペンドディスク領域をファイルとして作成してください。

詳しくは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

●セットアップメニューが表示された場合

4 [区画の設定]を選択します。

［2］キーを押します。

あとは、画面の指示およびパソコンの取扱説明書をご覧ください。

基本領域のみ設定してください

再セットアップ後に、残りの容量を確保します。

区画(パーティション)の最大容量について

制限がある場合があります。

詳しくは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

5 [新規インストール]を選択します。

［1］キーを押します。

あとは、画面の指示およびパソコンの取扱説明書をご覧ください。

残り容量を確保してください

この作業だけでは、本製品の全ての容量を使えるようになっていません。

【容量の確保方法】(75ページ)の作業をしてください。

サスペンドディスクを使う場合

サスペンドディスク領域をファイルとして作成してください。

詳しくは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

F2:富士通 一部の機種で8.4GBを使う

この作業は、5166NU8/W,5200NA8/W,5200NA8/X,NUV16,NUV16D,NUV16Xでお使いの場合に必要です。

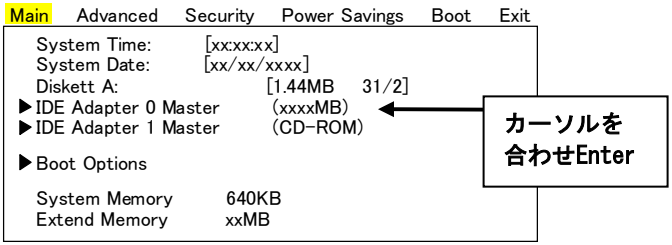
参考

本作業の目的
お使いの機種で使うために、本製品を7.9Gバイトのドライブとします。

1 起動時、FUJITSUロゴが出ている間に[F2]キーを押します。

⇒メニューが表示されます。

2 [IDE Adapter 0 Master]を選択します。

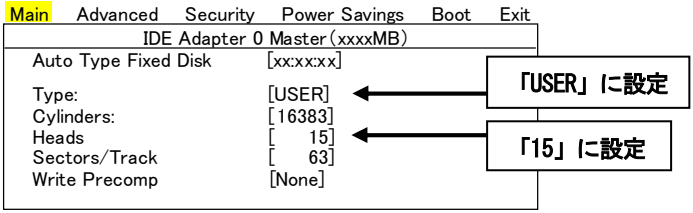


3 [TYPE:]を[USER]に設定します。

[Type:] にカーソルを合わせ、スペースキーを3回押します。

4 [Heads]を[15]に設定します。

[Heads] にカーソルを合わせ、[15] と入力し、[Enter] キーを押します。



5 [ESC]キーを押します。

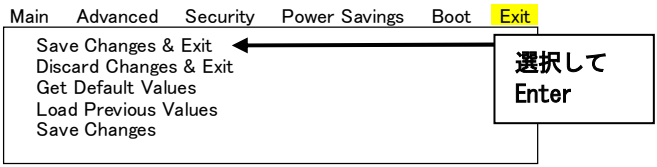
⇒メインメニューに戻ります。

6 **[→]キーを押し、[EXIT]を選択します。**

⇒EXITメニューが表示されます。

7 **[Save Changes & Exit]を選択し、[Enter]キーを押します。**

⇒メニューが終了されます。



8 **OSを終了し、パソコンの電源を切ります。**

あとは、【F1】(61ページ)の作業をご覧ください。

参考

パーティションの最大容量について

制限がある場合があります。

詳しくは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

F3:富士通 Windows XPモデル

パソコンに添付されている取扱説明書の「パソコンをご購入時の状態に戻す」方法をご覧ください。

参考

パソコンに添付されている「リカバリCD-ROM」を実行する際は

作業方法は「領域を設定したあと、ご購入時の状態に戻す」を選んでください。

「ご購入時の状態に戻す（推奨）」を選んでも、作業を行うことはできません。

HT:日立 一般

1 パソコン添付のディスクを挿入します。

「Windows CD版再セットアップディスク」をフロッピーディスクドライブに、「インストールCD」をCD-ROMドライブに挿入します。

2 パソコンの電源を入れます。

⇒メニューが表示されます。

3 目的に合わせて(1)または(2)を選択します。

4 ハードディスクの内容を削除して良いか、確認されます。

［(1) 次へ］を選択します。

5 [ハードディスクの内容は全て破棄されます]と表示されます。

［Y］キーを押します。

もう一度確認されますので、再び［Y］キーを押します。

⇒パソコンが再起動されます。再起動後、自動的に作業が行われます。

6 作業が終わったら、ディスクを取り出します。

7 パソコンを再起動します。

あとは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

I1 : IBM 390,560,570,600シリーズ

1 パソコン添付のディスクを挿入します。

「Product Recovery CD-ROM」をCD-ROMドライブに挿入します。
「Recovery CD-ROM BOOT Diskette」が添付されている場合は、フロッピーディスクドライブに挿入します。

2 パソコンの電源を入れます。

⇒メニューが表示されます。
パソコンの取扱説明書をご覧になりながら、手順3の画面が表示されるまで作業を進めてください。

参考

CD-ROMから起動しない場合は･･･
パソコンの取扱説明書【付録 内蔵CD-ROMドライブから起動する設定方法】をご覧ください。

作業は中止しないでください
中止すると、正しく再開できないことがあります。

3 この画面で、[2]を選択してください。

［2］（リカバリーを続ける）を入力し、［Enter］キーを押します。
その後、パソコンの取扱説明書をご覧になりながら、手順4の画面が表示されるまで作業を進めてください。

```
1) Do Not Continue with Recovery, Exit to DOS.
2) Continue with Recovery.
[1,2]?
```

4 この画面で、[3]を選択してください。

［3］（出荷状態のパーティションを作成し、フォーマットする）を入力し、［Enter］キーを押します。
あとは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

```
1) Do Not Continue with Recovery, Exit to DOS.
2) Use Existioning and Format C:Drive Only.
2) Factory Default Partitioning and Format All Drives.
[1,2,3]?
```

I2:IBM 380シリーズ

1 必要であれば、CD-ROMドライブを取り付けます。

本作業には、CD-ROMドライブが必要です。

2 パソコン添付のディスクを挿入します。

「Windows 95 CD-ROMセットアップ起動ディスク」をフロッピーディスクドライブに、Windows 95のCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入します。

3 パソコンの電源を入れます。

⇒［Windows 95 Startup Menu］が表示されます。

4 パソコンの電源を入れます。

⇒［Windows 95 Startup Menu］が表示されます。

5 使うCD-ROMドライブを選択して、[Enter]キーを押します。

一覧にないCD-ROMドライブを使用して再インストールする時は、CD-ROMドライブの取扱説明書を参照してください。

6 フォーマットするか確認されたら、終了します。

［Ctrl］+［C］キーを同時に押します。

7 FDISKを行い、基本領域を2047Mバイトにします。

詳しくは、画面の指示およびパソコンの取扱説明書をご覧ください。

※「大容量のパーティションを使用可能にしますか？」に対しては、［N］を入力します。

8 [Ctrl]+[Alt]+[Del]を同時に押します。

⇒パソコンが再起動されます。

［Windows 95 Startup Menu］が表示されます。

9 使うCD-ROMドライブを選択して、[Enter]キーを押します。

一覧にないCD-ROMドライブを使用して再インストールする時は、CD-ROMドライブの取扱説明書を参照してください。

10 フォーマットするか確認されたら、[Y]キーを押します。

⇒フォーマットが実行されます。

11 外付のCD-ROMドライブは、指示があったら取り外します。

12 Windows 95のCD-ROMを取り出します。

⇒取り出した後、何かキーを押すとセットアップが始まります。
後は、画面の指示およびパソコンの取扱説明書をご覧ください。

I3:IBM A20m, A20p, A21eシリーズ

パソコンに添付されている取扱説明書の手順をご覧ください。

Memo

付録

困った時には ……72

本製品を使っていて、異常があったときにご覧ください。

容量の確保方法 ……75

本製品の容量を全て使うための作業を説明します。

ファイルシステムについて ……88

ファイルシステムについて説明します。

用語解説 ……90

本書内の用語を説明します。

困った時には

本製品を使っていて、異常があったときにご覧ください。

再セットアップ時に「ハードディスクが書き込み禁止になっています」などと表示される

原因 **パソコンのBIOSで書き込みが制限されている**

下記の手順で再セットアップしてください。

1 **パソコンを起動し、BIOS設定メニューを表示させます。**

パソコンを起動し、起動画面が表示されたら［F2］キーを押します。

⇒BIOS設定メニューが表示されます。

2 **[Security]メニューを表示させます。**

3 **[Boot Sector Virus Protection]を[Disable]にします。**

4 **BIOS設定メニューを終了します。**

［Esc］キーを押し、［Enter］キーを２回押します。

⇒BIOS設定メニューが終了します。

5 **再セットアップします。**

パソコンの取扱説明書をご覧になり、再セットアップします。

6 **[Boot Sector Virus Protection]を[Enable]にします。**

手順 *1*～*4* を参考にしてください。

スタンバイから復帰できない

原因 **DVD/CD-ROMドライブの中にディスクを挿入している**

電源の関係でディスクを挿入していると起動できないことがあります。

ディスクを取り出してください。

デバイスマネージャで[プライマリIDEコントローラ]に[！]マークが付いている

原因 **Windowsをバージョンアップする必要がある**

下記の手順でバージョンアップしてください。

1 マイクロソフトのWebページに行きます。

下記のホームページをご覧ください。

```
http://www.microsoft.com/windows98/downloads/contents/WURecommended/
S_WUFeatured/bigide/Default.asp
```

2 [Next]ボタンをクリックします。

3 [License Agreement]を[･･･(Japanese)]にします。

4 [Download Now]ボタンをクリックします。

⇒ダウンロードの画面が表示されますので、ファイルをダウンロードしてください。

5 ダウンロードした[243450jpn8]をダブルクリックします。

⇒インストールのための画面が表示されます。
画面の指示に従ってインストールしてください。

6 インストールが終わったら、再び確認をします。

［！］マークが無くなっていたら、終了です。

再セットアップやフォーマットができない

原因 **パソコンのBIOSを設定する必要がある**

パソコンのBIOSメニューを起動し、「出荷時」に戻してみてください。
パソコンのBIOSについては、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

パソコンのBIOSで、本製品の容量が正しく表示されない

原因 **BIOSが大容量ハードディスクを正しく表示できない**

弊社では、本製品が問題なくお使いいただけることを確認しております。

容量の確保方法については、【使えるようにしよう】（53ページ）をご覧ください。

容量の確保方法

パソコンによっては、本製品の容量を全て使うために作業が必要です。
「注意」で指示があった場合(58,62ページ)のみ、本作業を行ってください。

OS	説明	
Windows XP/2000	【Windows XP/2000での容量確保】	本ページ
Windows Me/98	【Windows Me/98での容量確保】	82ページ

Windows XP/2000での容量確保

参考

コンピュータの管理者(Administrator)でログオンしてください

Windows XP/2000でハードディスクをフォーマットする場合は、コンピュータの管理者（Administrator）グループに属するユーザーでログオンする必要があります。

画面例はWindows XPのものです

画面上に表示される文字やウィンドウの形などが多少異なりますが、特に記載がない限りWindows 2000でも同じ操作で作業を行います。

1 「コントロールパネル」を起動します。

Windows XPの場合

［スタート］→［コントロールパネル］の順にクリックします。

⇒［コントロールパネル］が起動されます。

Windows 2000の場合

［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］の順にクリックします。

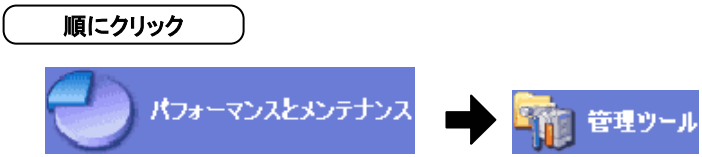
⇒［コントロールパネル］が起動されます。

2 「管理ツール」を起動します。

Windows XPの場合

［パフォーマンスとメンテナンス］→［管理ツール］の順にクリックします。

⇒［管理ツール］が起動されます。



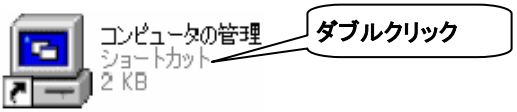
Windows 2000の場合

［管理ツール］アイコンをダブルクリックします。

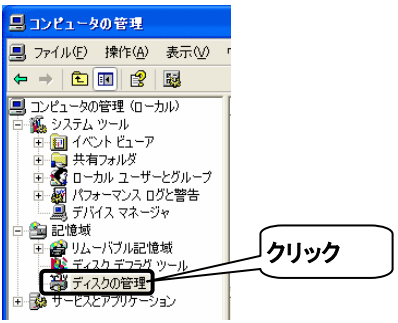
⇒［管理ツール］が起動されます。

3 ［コンピュータの管理］をダブルクリックします。

⇒［コンピュータの管理］が起動されます。



4 ［ディスクの管理］をクリックします。

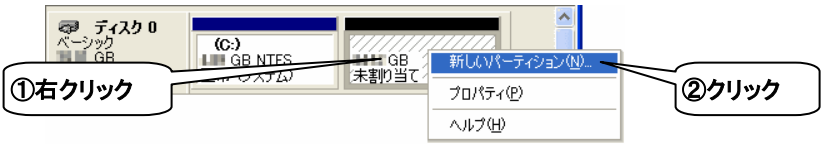


5 「新しいパーティションウィザード」を起動します。

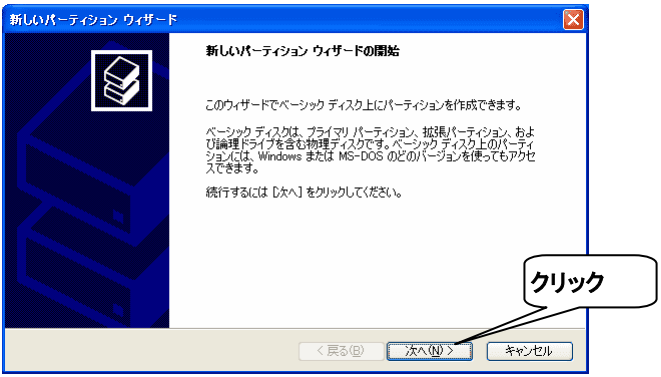
① フォーマットしたいハードディスクの未割り当ての領域を右クリックします。

② 表示された［新しいパーティション（パーティションの作成）］をクリックします。

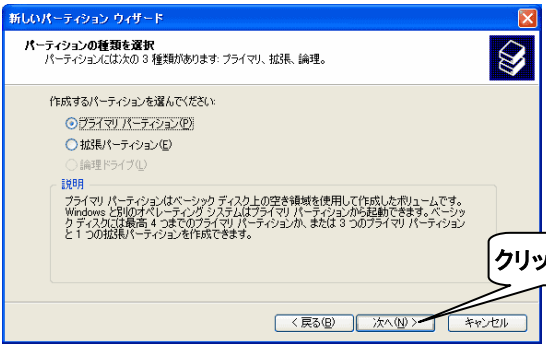
⇒「新しいパーティション（パーティションの作成）ウィザード」が起動します。



6 ［次へ］ボタンをクリックします。



7 [次へ]ボタンをクリックします。

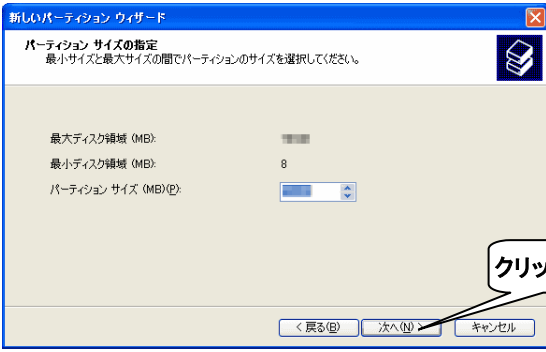


参考

拡張パーティションについて

ここでは、［拡張パーティション］を選ぶこともできます。
ハードディスクを５つ以上に分割したい場合は、「拡張パーティション」を作成する必要があります。
詳細は、Windows XP/2000の取扱説明書、オンラインヘルプをご覧ください。

8 [次へ]ボタンをクリックします。

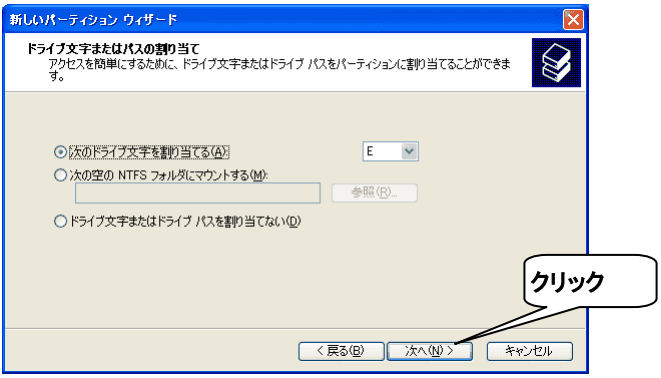


参考

パーティションサイズについて

ここでは、最大値のままの設定にされています。
ハードディスクを分割したい場合は、［パーティションサイズ］を［最大ディスク領域］より小さくする必要があります。
詳細は、Windows XP/2000の取扱説明書、オンラインヘルプをご覧ください。
※ 手順**//**で選ぶファイルシステムによっては、パーティションサイズに制限があります。
【ファイルシステムについて】(88ページ)をご確認ください。

9 [次へ]ボタンをクリックします。

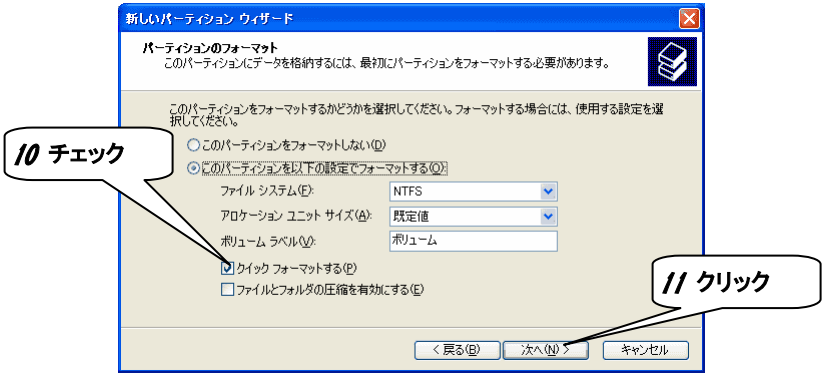


ドライブ文字について

ここで割り当てたドライブ文字が、作成するドライブのドライブ文字になります。

10 [クイックフォーマットする]をチェックします。

11 [次へ]ボタンをクリックします。



ファイルシステムについて

ハードディスクをWindows XP/2000のみで使う場合は、［NTFS］のままにしてください。

他のOSで使う場合は、使うOSにも対応したファイルシステムをお使いください。詳しくは、【ファイルシステムについて】(88ページ)をご覧ください。

12 設定を確認して、[完了]ボタンをクリックします。

設定が正しいことを確認し、［完了］ボタンをクリックします。

⇒パーティションの作成とフォーマットが行われます。

下の画面が表示された

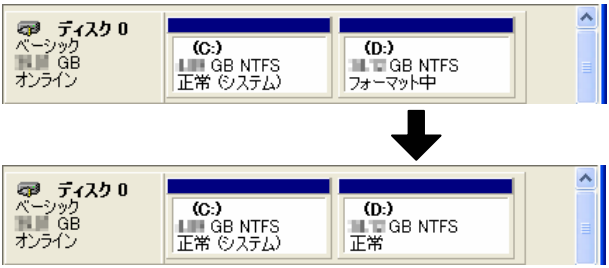
フォーマットが途中で終了しています。

手順15 で確認するアイコンを右クリックし、フォーマットしてください。

13 フォーマットされます。

［フォーマット中］が［正常］になるまでお待ちください。

フォーマットには、容量に応じた時間がかかります。



14 [コンピュータの管理]を閉じます。

ボタンをクリックします。

15 本製品のアイコンを確認します。

①［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリックします。

②［マイコンピュータ］の中にハードディスクのアイコンが増えていることを確認します。

⇒これが本製品のアイコンです。

参考

本製品のアイコンの見分け方

フォーマットした後のため、本製品にはデータが何も入っていません。ダブルクリックで開いたとき、中にファイルなどが入っていないアイコンが本製品のアイコンです。

作成したパーティションの次回からのフォーマットについて

本製品のアイコンを右クリックし、表示された［フォーマット］をクリックします。

以上で容量は確保されました。
再起動せずにそのまま本製品を使えます。

Windows Me/98での容量確保

1 パソコンを「Command Prompt Only」で起動します。

Windows Meの場合

Windows Meの起動ディスクをフロッピーディスクドライブに入れ、
パソコンの電源を入れます。
メニューが表示されたら、「3」と入力して↵キーを押します。

Windows 98の場合

［Ctrl］キーを押したまま、パソコンの電源を入れます。
メニューから［Command Prompt Only］を選択します。
※メニューが表示されない時は、パソコンが起動している途中で
［Ctrl］キーを押したり、はなしたりしてください。

Windows 98で容量確保をする前に
下のWebページをご覧になり、FDISKのアップデートを行ってください。

http://support.microsoft.com/default.aspx?scid=kb;ja;263044

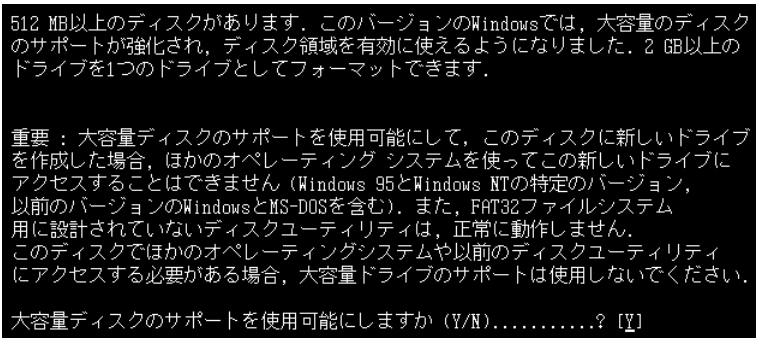
Windows Meの起動ディスクを作るには
①［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］を開きます。
②［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。
③［起動ディスク］タブをクリックします。
④フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブに挿入して、
［ディスクの作成］ボタンをクリックします。
※Windows MeのCD-ROMを要求されることがあります。
⑤「このディスクのファイルは全て削除されます」という内容のメッセージが表示されるので、［OK］ボタンをクリックします。
⑥進行状況の表示が消えたら、［OK］ボタンをクリックします。

自動で「Help」が表示されたら･･･
［Alt］→［F］→［X］キーの順に押し、「Help」を終了してください。

2 FDISKと入力し、[Enter]キーを押します。

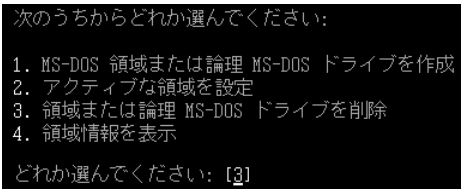
3 下の画面が表示された場合は、[Y]を入力します。

下の参考をご覧になり、［Y］を入力して［Enter］キーを押します。



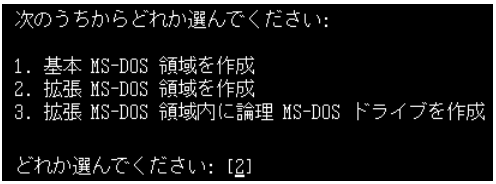
4 「MS-DOS領域または論理MS-DOS･･･」を選択します。

［1］（MS-DOS領域または論理MS-DOSドライブを作成）を入力し、［Enter］キーを押します。



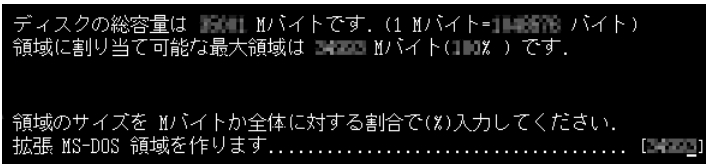
5 「拡張MS-DOS領域を作成」を選択します。

［2］（拡張MS-DOS領域を作成）を入力し、［Enter］キーを押します。



6 残りの全容量を指定します。

表示されている領域のサイズを確認し、↵キーを押します。



参考

ここで指定する領域のサイズについて

この後の手順で「拡張MS-DOS領域」内にいくつかの「論理ドライブ」を作成します。（次ページ参照）

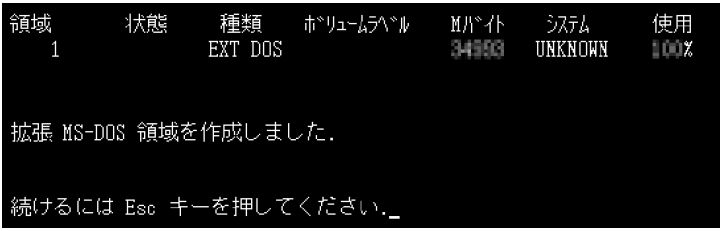
ここでの領域のサイズ指定は、「拡張MS-DOS領域」内のすべての「論理ドライブ」の合計です。

「領域に割り当て可能な最大領域」（拡張MS-DOS領域用の空き容量）が1,000Mバイトあるのに700Mバイトしか指定しなかった場合、残りの300Mバイトは使えなくなります。

「拡張MS-DOS領域」と「論理ドライブ」について

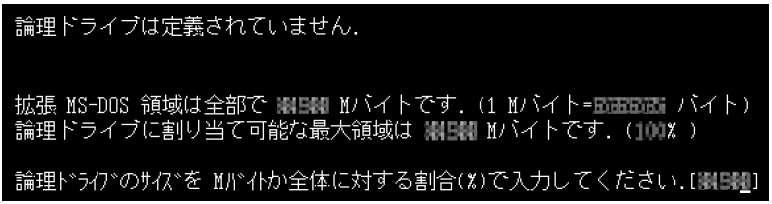
「拡張MS-DOS領域」内に「論理ドライブ」を作らないと、そのままドライブとして使うことはできません。

7 下の画面が表示されますので、[ESC]キーを押します。



8 作成する「論理ドライブ」の容量を入力します。

「論理ドライブに割り当て可能な最大領域」で表示されている容量以下のサイズを入力し、↵キーを押します。



手順8の画面が表示されなかった場合

手順1～5までの作業をすれば、手順8の画面が表示されます。

本製品を1つのドライブで使う場合は

そのまま↵キーを押します。

「論理ドライブ」の容量の入力方法について

・サイズを［Mバイト］で指定する場合

指定したいサイズの数字のみを入力してください。

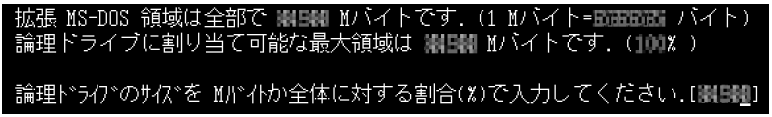
（例：1000Mバイトを指定したい場合は、「1000」と入力します。）

・サイズを［%］で指定する場合

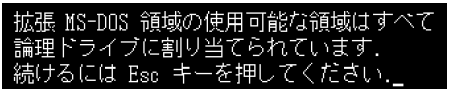
指定したいパーセンテージに「%」をつけて入力してください。

（例：30パーセントを指定したい場合は、「30%」と入力します。）

9 残り容量が無くなるまで「論理ドライブ」を作ります。



▲この場合は、手順8をもう一度行ってください。



▲この場合は、完了です。[ESC]キーを押します。

10 [ESC]キーを3回押します。

11 起動ディスクを取り出し、パソコンを再起動します。

フロッピーディスクドライブから起動ディスクを取り出します。
［Ctrl］+［Alt］+［Delete］キーを同時に押し、パソコンを再起動します。

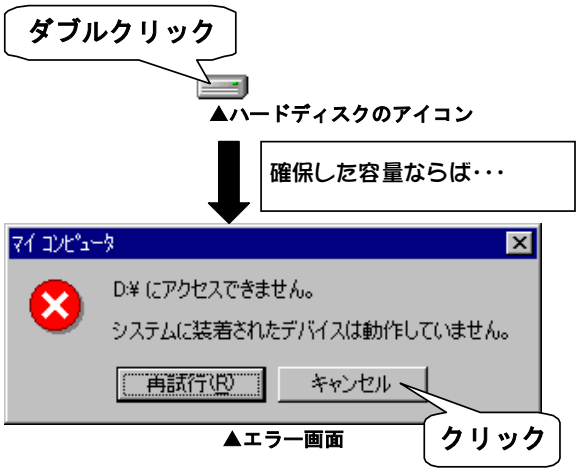
12 確保したアイコンを確認します。

［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリックし、「マイコンピュータ」を開きます。表示されたドライブアイコンの中から確保した容量のアイコンを確認します。

参考

確保した容量のアイコンの確認方法

ハードディスクのアイコンをダブルクリックし、エラー画面が表示されたアイコンが確保した容量です。
本製品のアイコンを確認したら、［キャンセル］ボタンをクリックして、エラー画面を閉じてください。



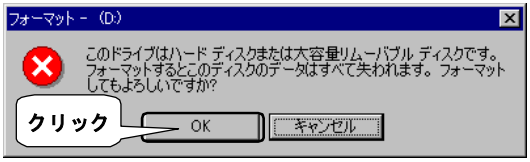
13 ［フォーマット］をクリックします。

本製品のアイコンを右クリックし、表示された［フォーマット］をクリックします。

14 [通常のフォーマット]でフォーマットします。

［通常のフォーマット］を選び、［開始］ボタンをクリックします。

15 [OK]ボタンをクリックします。



16 フォーマットが終わったら、スキャンディスクをします。

フォーマットが終わると、画面上にヘルプが表示されます。
ヘルプの指示にしたがって、スキャンディスクを実行してください。

17 作成した「論理ドライブ」の数だけフォーマットします。

まだフォーマットしていない「論理ドライブ」（本製品のアイコン）があれば、手順*12* からくり返してください。

18 パソコンを再起動します。

すべての「論理ドライブ」をフォーマットできたら、パソコンを再起動します。

以上でフォーマットは終了です。本製品をお使いください。

参考

フォーマット後の確認

フォーマット終了後、他の機器のドライブ名が変更される場合がありますので、各装置のドライブ名を再度ご確認ください。

ファイルシステムについて

ハードディスクを複数のOSで併用して使う場合は、併用するOSのすべてで認識できるファイルシステムにてパーティションを作成しなくてはいけません。
ここでは、各OSがどのファイルシステムに対応しているかについて説明します。

ファイルシステム

ファイルの管理方式のこと。
パーティションは、何らかのファイルシステムを元に作成される。

OS毎の使用できるファイルシステム

OSによって、使用できる（作成できる）ファイルシステムが異なります。
複数のOSでハードディスクを併用する際のパーティションの作成時には、下の表を参照して併用できるファイルシステムを確認してください。

例えば、Windows MeとWindows XPでは、「FAT32」「FAT16(FAT)」のファイルシステムでハードディスクにパーティションを作成（フォーマット）すれば併用できます。（「NTFS」でパーティションを作成すると併用できなくなります。）

使用OS(バージョン)	ファイルシステム		
	NTFS	FAT32	FAT16 (FAT)
Windows XP	○	○※1	○※2
Windows 2000	○	○※1	○※2
Windows Me/98/95	×	○※3	○
Windows NT	○	×	○※2
Windows 3.1※4	×	×	○
DOS※4	×	×	○

○：使用可　×：使用不可

※1 作成できる容量は「32Gバイト」までですが、認識できる容量は「2Tバイト」までであることにご注意ください。
※2 他のOSと併用する場合には、１パーティションのサイズを「2047Mバイト」以下に設定する必要があります。
※3 Windows 95がOSR 2以降でない場合は、使用できません。
※4 約8.4Gバイトを越える容量のハードディスクは、約8.4Gバイトとして使うことになります。

ファイルシステムとその特徴

ファイルシステム	特徴
NTFS	１パーティションあたりの最大容量は、「約408,000,000Tバイト」です。 ただし、Windows Me/98ではアクセスできません。
FAT32	**Windows XP,Windows 2000** １パーティションあたりの作成できる最大容量は、「約32Gバイト」です。 ただし、Windows Me/98でフォーマットされたFAT32のパーティションを「約2Tバイト」まで認識できます。 **Windows Me/98/95 OSR 2** １パーティションあたりの最大容量は「約2Tバイト」です。
FAT(16)	**Windows XP,Windows 2000,Windows NT 4.0** １パーティションあたりの最大容量は、「約4Gバイト」です。 ただし、Windows 98などで使用する場合は、「2,047Mバイト」までにする必要があります。 **Windows Me/98/95/3.1,DOS** １パーティションあたりの最大容量は、「2,047Mバイト」です。

参考

容量表記について

1T(テラ)バイト ＝ 1,000Gバイト
1G(ギガ)バイト ＝ 1,000Mバイト
1M(メガ)バイト ＝ 1,000,000バイト

用語解説

フォーマット

ハードディスクを使えるようにするために必要な作業。
他に、イニシャライズや初期化などと呼ぶこともある。

お問い合わせ

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターで受け付けています。

1 まず、弊社ホームページをご確認ください。

【困った時には】(72ページ)で解決できない場合は、サポートWebページ内の「製品Q&A、News」などもご覧ください。過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。こちらも参考になさってください。

http://www.iodata.jp/support/

製品Q&A,
Newsなど

2 それでも解決できない場合は･･･

住所： 〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器 サポートセンター

電話： 本社…**076-260-3661** 東京…**03-3254-1085**
※受付時間 9:30～19:00 月～金曜日（祝祭日を除く）

FAX： 本社…**076-260-3360** 東京…**03-3254-9055**

インターネット： http://www.iodata.jp/support/

参考

お知らせいただく事項について

1. ご使用の弊社製品名。
2. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
3. ご使用のOSとアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
4. トラブルが起こった状態、トラブルの内容、現在の状態
（画面の状態やエラーメッセージなどの内容）

修理について

修理の前に

故障かな？と思ったときは、

①本書をもう一度ご覧いただき、設定などをご確認ください。

②弊社サポートセンターへお問い合わせください。

（【お問い合わせ】をご覧ください）

明らかに故障の場合は、下記内容を参照して、本製品をお送りください。

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●内部のデータについて

・検査の際には、内部のデータはすべて消去されてしまいます。
（厳密な検査を行うためです。どうぞご了承ください。）

※データに関しては、弊社はいっさいの責任を負いかねます。
バックアップできる場合は、修理にお出しになる前にバックアップしてください。

・弊社では、データの修復は行っておりません。

●お客様が貼られたシールなどについて

修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。
その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●修理金額について

・保証期間中は、無料修理いたします。
ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。

※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。

・保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。

※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。

・お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。
修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。
（ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。）
修理しないとご判断いただきました場合は、無料でご返送いたします。

修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

●メモに控え、お手元に置いてください

お送りいただく製品の製品名、シリアル番号（製品に貼付されたシールに記載されています）、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

●これらを用意してください

・必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）
　※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。
・下の内容を書いたもの
　返送先［住所/氏名/(あれば)FAX番号］,日中にご連絡できるお電話番号,
　ご使用環境（機器構成、OSなど）,故障状況（どうなったか）

●修理品を梱包してください

・上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。
・輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。
　※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

●修理をご依頼ください

・修理は、下の送付先までお送りくださいますようお願いいたします。
　※ 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
・送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先　〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　修理センター　宛

修理品の返送

・修理品到着後、通常約１週間ほどで弊社より返送できます。
　※ただし、有料の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。

HDNVシリーズ 取扱説明書
2003.06.27 119723-02
発 行　株式会社アイ･オー･データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地
© 2002-2003 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.